岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事

図　面　目　録

図面番号	図面内容	縮尺
Ａ－１	建築改修工事特記仕様書１	NO SCALE
Ａ－２	建築改修工事特記仕様書２	NO SCALE
Ａ－３	建築改修工事特記仕様書３	NO SCALE
Ａ－４	付近見取図、配置図	A1:1/500、A3:1/1000
Ａ－５	【既存】１階・２階平面図	A1:1/100、A3:1/200
Ａ－６	【改修】１階・２階平面図	A1:1/100、A3:1/200
Ａ－７	【既存】１階教場撤去図　平面詳細図、展開図	A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－８	【改修】１階浴室・脱衣室　平面詳細図、展開図	A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－９	【改修】浴室・脱衣室廻り詳細図	A1:1/ 30、A3:1/ 60
Ａ－10	【改修】土間復旧、腰壁新設図	A1:1/ 30、A3:1/ 60
Ａ－11	【既存】１階・２階便所　平面詳細図、展開図	A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－12	【改修】１階・２階便所　平面詳細図、展開図	A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－13	【既存】撤去建具表、建具配置図	A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－14	【改修】建具表、建具配置図１	A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－15	【改修】建具表、建具配置図２	A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－16	【改修】家具詳細図、家具配置図	A1:1/ 30、A3:1/ 60 A1:1/ 50、A3:1/100
Ａ－17	１階・２階ブラインド改修図	A1:1/50、A3:1/ 100 A1:1/100、A3:1/200

工事名　岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事　　特記仕様書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工事場所　盛岡市青山一丁目24番　（用途地域　第一種住居地域　防火地域　準防火地域　）
2．敷地面積　24,728.57㎡
3．工事種別　改修
4．工事規模　寄宿舎（早池峰寮）　延べ面積 911.51㎡　鉄骨造　2階建
5．工事範囲　早池峰寮1階敷場、1・2階便所、1階洗面所、2階情報教育室の改修

Ⅱ．改修工事仕様

1．共通仕様
図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「改修標仕」という。）による。
ただし、改修標仕に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2．特記仕様
（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記仕様は、◉印の付いたものを適用する。
◉印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◉印と※印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記仕様書に記載の［　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準	図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ⊙公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 本設計図書における「標準詳細図」他は、次の基準を指す。（令和4年版） ○建築工事標準詳細図（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
	② 工事実績情報の登録（工事カルテ）	⊙ 適用する　[1.1.4]
	③ 発生材の処理等	引渡しを要するもの　[1.3.12] ※ なし ⊙ あり （種類：金属くず（有価物）　処理方法：指定場所に集積　）
		特別管理産業廃棄物 ※ なし ・ あり （　）
		※ 上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。
		現場において再利用を図るもの （　） ※ 現場における分別－保存材は、分別する。
		⊙ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
	④ 現場技術員等	現場には下記の現場技術員等を置く。　[1.3.2] ⊙ 監理技術者又は主任技術者：建設業法第26条による有資格者を専任又は常駐させること。 ・ 現場技術員　：適正な技術員を専任又は常駐させること。
	5．電気保安技術者	・ 適用する　[1.3.3]
	⑥ 技能士	[1.6.2] 技術検定の職種 ／ 作業の種別 仮設工事（・とび）・全て 鉄筋工事（⊙鉄筋施工）・全て コンクリート工事（・左官・型枠施工）・全て 鉄骨工事（・とび）・全て ブロック・ＡＬＣパネル工事・ＰＣカーテンウォール工事（・ﾌﾞﾛｯｸ建築・ALCﾊﾟﾈﾙ施工・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工）・全て 防水工事（⊙防水施工）・全て 石工事（・石材施工）・全て タイル工事（⊙タイル張り）・全て 木工事（・建築大工）・全て 屋根・とい工事（・建築板金・スレート施工）・全て 金属工事（⊙内装仕上げ施工（鋼製下地））・全て 左官工事（⊙左官）・全て 建具工事（・サッシ施工・ガラス施工）・全て 塗装工事（・塗装・樹脂接着材注入施工）・全て 内装工事（⊙内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）・表装）・全て 植栽工事（・造園）・全て
	7．施工条件	施工順序に制約がある場合　[1.3.5] ・ その他の施工条件　[1.3.5]
	⑧ 建築材料等	(a) 原則として、全ての材料について監督員の承諾を受ける。 (b) 環境への配慮　[1.4.1] ※ 改修標仕 1.4.1 による
	9．特別な材料の工法	[1.4.2] 改修標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

② 一般共通事項

⑩ 提出書類
請負契約に定められている書類
（契約後）⊙工事工程表　⊙現場代理人、主任技術者等届　⊙下請調書
⊙火災保険加入契約書（写）　⊙請負代金内訳書
（工事中）・ 出来高検査願
（完成後）⊙工事完成届　⊙工事完成引渡書（引渡図書目録添付）
改修標仕、特記仕様書等に定められている書類
（契約後）⊙製造所等承諾願　⊙工事総合施工計画書　・ 現場技術員届
（工事中）⊙各種工事施工計画書　⊙各種工事施工図　⊙工事作業日報
⊙主要資材規格又は品質証明書　⊙各種試験成績書又は報告書
⊙主要資材搬入検査簿　⊙技能士合格証明書
（完成後）⊙完成図（修正設計図）　⊙責任施工保証書　⊙各種届出書等
・ 官公署許認可及び検査済書　⊙維持管理取扱書（設備機器説明含む）

⑪ 施工図及び施工計画書
施工図及び施工計画書の提出について
(a) 施工図及び施工計画書は、各工種において作成し提出する。
(b) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（平成元年）」に準ずるものとする。
(C) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に委譲するものとする。
(d) 提出部数は、施工図の原図及びその隔離複写図（3部）とする。ただし、製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に代わるものとしてよい。

⑫ 完成図
・提出図書　※ 監督員の指示による。　[1.8.2]
・ＣＡＤデータ　※ 監督員の指示による。

⑬ 工事完成写真
下記のものを監督員に提出する。

区分	分類	規格	撮影箇所数	部数	備考
着工前	※カラー	※サービス版	監督員の指示による。（撮影計画を提出する）	1部	
工事施工状況	※カラー	※サービス版		1部	
完成時	※カラー	・キャビネ版 ・サービス版		1部	

⑭ 設備工事との取合い
施工範囲
・ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強
・ 駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ
・ 自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強

施工図
設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

⑮ 施工調査
施工数量調査　[1.5.2]
調査範囲　・ 図示　⊙改修範囲
調査方法　・ 図示　⊙目視
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　[1.5.3]
・ 図示　⊙復旧
調査報告書の提出部数　⊙ 3部

③ 仮設工事

① 監督員事務所　[2.4.1]
・ 設ける
（規模及び仕上げの程度並びに設置する備品の種類・数量等は現場説明書による）
⊙設けない

2．監督員事務所の備品等　[2.4.1]

備品の種類	数量	備品の種類	数量	備品の種類	数量
机・椅子	組	雨合羽	着	コピー機	台
書棚	台	懐中電灯	個	最高最低温度計	個
ゴム長靴	足	衣類ロッカー	人用	冷暖房機	台
工事用ヘルメット	個	湯沸器	台	消火器	個
黒板又はホワイトボード	個	パソコン（メール付）	台	掃除具	個
		電話（・FAX付）	台		

③ 工事用水
構内既存の施設
・ 利用できる（・有償　・無償）　⊙利用できない

④ 工事用電力
構内既存の施設
・ 利用できる（・有償　・無償）　⊙利用できない

5．騒音・粉じん等の対策　[2.1.3]
・防音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※図示

6．足場等　[2.2.1][表2.2.1]
内部足場　・設置する（※脚立、足場板等　・　）
・設置しない
外部足場　・設置する（・枠組足場　・単管足場　・くさび緊結式足場　）
・設置しない
防護シートによる養生　・行う（・工事に必要な範囲　・　）
材料、撤去材等の運搬方法
種別・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種
Ｃ種：利用可能なエレベーター（　）
Ｄ種：利用可能な階段（　）
・「手引先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手引先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手引揃置方式又は(3)手引先行専用足場方式により行う。

7．既存部分の養生
養生の方法等　[2.3.1]
⊙既存部分　養生の方法（※ ビニルシート、合板　・　）
・既存家具、既存設備等　養生の方法（※ ビニルシート等　・　）
・既存ブラインド、カーテン等　養生の方法（・ ビニルシート等　・　）
保管場所　（・図示　・　）
・備品、机、ロッカー等の移動　（・図示　・　）
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
仮設間仕切りの種別と材質等　[2.3.2]
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・　[表2.3.1]

種別	下地	仕上材（厚さ mm）	塗装	充填
・Ａ種	・木	・せっこうボード（9.5mm）	・無し	グラスウール 厚さ mm
・Ｂ種	※ 軽量鉄骨	・合板（9mm）・	・片面	
※ Ｃ種	単管	防炎シート		

仮設間仕切に設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	備考
※ 木製	※合板張り程度	・無し ・片面	
・	・		

3　防水改修工事　～　4　外壁改修工事　　省略

⑤ 建具改修工事

① 改修工法　[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具		・	・	・建具表による
・樹脂製建具		—	・	・建具表による
・鋼製建具	・外部	・	・	・建具表による
	・内部	・	・	・建具表による
・鋼製軽量建具		・	・	・建具表による
・ステンレス製建具		・	・	・建具表による
⊙木製建具		—	撤去、新設	⊙建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方　※図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示

2．防火戸　[5.1.4]
・指定する　適用箇所（・建具表による　・　）
・指定しない
自動閉鎖機構方式　・ヒューズ装置連動　・熱感知器連動　・煙感知器連動

3．見本の製作等　[5.1.5]
建具見本の製作　・行う（建具符号：　）
・行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
・行わない

4．防犯建物部品　[5.1.7]
・適用する　適用箇所（・建具表による　・　）
・適用しない

5．アルミニウム製建具～9．ステンレス製建具　省略

⑩ 木製建具　[5.7.2]
※ 建具表による　・B種
建具材の含水率　※A種
フラッシュ戸、戸ぶすまの材料のホルムアルデヒド放散量
・Ｆ☆☆☆☆
・改修標準仕様書5.7.2（２）（イ）(a) ②による
ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）の表裏面
表裏面の状態による区分（・DV　・DO　・DC）
接着剤による区分（・U　・M　・P）
曲げ強さによる区分（・30・25・15）
難燃性による区分（・難燃2　・難燃3）
かまち戸の樹種　・かまち材（　）
・鏡板（　）
ふすま　種別　・Ⅰ型　・Ⅱ型
上張り（押入等の裏紙以外）・鳥の子　・新鳥の子又はビニール紙程度
枠及びくつずりの材料　※建具表による　・
フラッシュ戸のいんろう付き召し合せ　・採用する　・採用しない
ふすま、戸ぶすまの縁の仕上げ　※建具表による　・

11．建具用金物　[5.8.2～4]
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※ 改修標仕 表5.8.1及び表5.8.2による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置
・建具表による
マスターキーの製作　・製作する　⊙製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
鍵箱　・有り　⊙無し

12．自動ドア開閉装置～16．オーバーヘッドドア　省略

17．ガラス　[3.7.2][5.14.2～4][図5.14.1]
・特記仕様書に無き種類・品質・厚さ等は図示（建具表）による
・フロート板ガラス　※品種、厚さは建具表による
・型板ガラス　※品種、厚さは建具表による
・ 網入板ガラス及び線入板ガラス
品種、厚さ及び網又は線の形状　※建具表による
・ 合わせガラス

品種	構成種類	球面衝撃はく離特性、ショットバック衝撃特性
※建具表による		・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	破片の状態及びショットバック衝撃特性
・フロートガラス	・ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス	・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類
・型板ガラス	・ 型板強化ガラス	

・ 熱線吸収板ガラス

品種	性能	色調
・ 熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ ブルー　・ グレー
・ 熱線吸収網入磨き板ガラス	・2種	・ ブロンズ

⊙ 複層ガラス　板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建具表による

品種	断熱性の区分	日射取得性・遮へい性による区分	乾燥気体の種類
⊙断熱複層ガラス	・T1　・T3　・T5 ・T2　・T4　・T6	・G　・S	⊙空気 ・アルゴン
・日射熱遮へい複層ガラス	・T1　・T3　・T5 ・T2　・T4　・T6	・G　・S	・空気 ・アルゴン

・ 熱線反射板ガラス

品種	日射遮へい性	耐久性による区分	色調
・熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	・ 1種	A種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー
	・ 2種	・A種・B種	
	・ 3種	B種	

反射被膜面　・内面　・外面
映像調整　・行う　・行わない

18．ガラスブロック　省略

⑲ ガラス用フィルム

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類	厚さ（mm）	色調
・ フロート倍強度ガラス		——
・ 熱線吸収倍強度ガラス		・ グレー　・ ブルー　・ ブロンズ

ガラス留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル形	※建具製造所の仕様による
○樹脂製	⊙ 建築用ガスケット ・ グレイジングビード	※建具製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による
ステンレス製	・ シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他の性能等
⊙日射調整フィルム G	⊙ＳＣ-1	・ＳＣ-2	不透明
・低放射フィルム	・ＬＥ		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ＧＩ-1	・ＧＩ-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ＧＤ-1		
・ガラス貫通防止フィルム	・ＳＦ		

品質　JIS A 5759による

⑥ 内装改修工事

1．改修範囲　[6.1.3]
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
※ 既存のまま　・ 図示

2．既存床の撤去、下地補修
ビニル床シート等の除去　※ 仕上げ材のみ（接着剤とも）　[6.2.2]
・ 下地モルタルとも（・図示の範囲　・撤去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法

3．既存壁の撤去、及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　[6.3.2]
・
※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（塗り厚 25mm を超える場合の補強　※図示）

4．木材
材料のホルムアルデヒド放散量　[6.5.2]
※ Ｆ☆☆☆☆
・ホルムアルデヒド放散量表示がない場合は改修標準仕様書6.5.2（1）（ウ）（b）による
間伐材等の適用　・適用する

5．製材 G
「製材の日本農林規格」による製材　[6.5.2]
・下地用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	備考
	・図示	※2級 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	
	・図示	※2級 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	

・造作用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	備考
見え掛り面	・図示	※上小節 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	
見え掛り面以外	・図示	※小節以上 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	

・広葉樹製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	備考
	・図示	※1等 ・	・A種　・B種 ※10%以下	・適用する ・適用しない	
	・図示	※1等 ・	・A種　・B種 ※10%以下	・適用する ・適用しない	

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	備考
	・図示	（造作材の場合（※A種　・B種））	・適用する ・適用しない	・A種　・B種 ・	
	・図示	（造作材の場合（※A種　・B種））	・適用する ・適用しない	・A種　・B種 ・	

特記	
・	
・	
・	
・	

設計年月日	担当	検図	照査	工事名	岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	図面番号
・　・				図面名称	建築改修工事特記仕様書１　縮尺 A1：1/600 A2：1/1200	A ―― 1

⑥ 内装改修工事

6.造作用集成材 G

造作用集成材 [6.5.2]

・造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	見付材面数	見付け材面の品質
			・図示		※1等 ・2等
			・図示		※1等 ・2等

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さmm)	見付材面数	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：	・図示			※1等 ・2等
		化粧薄板： 芯材：	・図示			※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率
		・図示		※15%以下 ・
		・図示		※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：	・図示			※15%以下 ・
	化粧薄板： 芯材：	・図示			※15%以下 ・

7.造作用単板積層材 G

造作用単板積層材 [6.5.2]

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	品名	厚さ（mm）	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
		・	・有 （加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工 ） ・無（等級：・1等・2等・3等）	・適用する ・適用しない
		・	・有 （加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工 ） ・無（等級：・1等・2等・3等）	・適用する ・適用しない

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率	防虫処理
		・有 （加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工 ） ・無（ ）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
		・有 （加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工 ） ・無（ ）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・ＣＬＴ（直交集成板） G

施工箇所	品 名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）
						・図示
						・図示

⑧.下地用合板等

下地用合板等 [6.5.2]

・普通合板 G

施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	表板の品質	防虫処理
(・)脱衣室床 (・)浴室壁、天井	耐水合板	※5.5 (・)9・12	ラワン程度	(※)1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない
		・				

・構造用合板 G

施工箇所	品名	等級	単板の樹種名	板面の品質	厚さ（mm）	保存処理の適用	防虫処理	強度等級
		※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・しない	・適用する ・適用しない	・適用する （ ） ・適用しない
		・2級 ・1級		・	・	・適用する ・しない	・適用する ・適用しない	・適用する （ ） ・適用しない

接着の程度 常温湿潤状態となる場所での使用 ※特類 ・
その他の場合 ※1類以上 ・

・化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・適用する （ ）
				・	・

接着の程度 常温湿潤状態となる場所での使用 ※特類 ・

6-2 内装改修工事

・天然木化粧合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する （ ）
				・

・特殊加工化粧合板 G

施工箇所	品名	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・適用する （ ）
			・		・	・

・パーティクルボード G (12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
	・	※13タイプ ・	・MR1(M)又はMR2(P)タイプ ・	・	※ 15 ・
	・	・	・	・	・

・構造用パネル (12.2.1)

施工箇所	品 名	厚さ（mm）
	・	・
	・	・

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ） G

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・

⑨接着剤

[6.5.3～4]

接着剤（木れんが用接着剤を含む）のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆

10.防腐、防蟻処理

[6.5.5]

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（ ）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K２ ・K３ ・K４
	・K２ ・K３ ・K４

・薬剤の塗布による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（ ）
・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部位：（ ）
・防虫処理の適用
適用部位：（ ）保存処理の性能区分（ ）

⑪軽量鉄骨天井下地

[6.6.2～4]

野縁等の種類 屋外 ・19型 ※25型
屋内 (※)19型 (・)25型

・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示
周辺部の端からの間隔 ・図示
野縁の間隔 ・図示

既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの引張試験 ・行う
・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示
・天井のふところが1.5m以上3.0mの場合
補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(8)(ア)(イ)による ・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※図示
補強方法 ※図示
(・)開口部の補強
・補強野縁及び、野縁受の追加による。野縁受のはね出しは150mm以下となるようにつりボルトの増つりを行う。
・図示による

⑫軽量鉄骨壁下地

[6.7.3][表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類
※ 改修標準仕様書6.7.3によるスタッド高さによる区分に応じた種類
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による

⑬ビニル床シート ビニル床タイル ゴム床タイル

ビニル床シート G [6.8.2～3]

種類の記号	色 柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備 考
※FS (・)発泡複層	(・)無地 ・マーブル柄 (・)柄物	※2.0 (・)2.5	・帯電防止 ・耐動荷重性 (・)防滑性 ・耐薬品性	無地 点検通路 柄物（籐柄） 脱衣室床	

目地処理する場合の工法 (※)熱溶接工法

6-3 内装改修工事

ビニル床タイル G [6.8.2]

種類の記号	色 柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)	備 考
※ＫＴ ・ＴＴ ・ＦＴ ・ＦＯＡ ・ＦＯＢ	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	・帯電防止 ・防滑性 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0	

・視覚障害者用床タイルの種類・形状 （種類： 形状： ）
ビニル幅木 材質 ・軟質 ・硬質
高さ（mm） ※60 ・70 ・100
厚さ（mm） ※1.5以上 ・

ゴム床タイル [6.8.2]
色柄 （ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) （ ）

特殊機能 [6.8.2]
帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455） 1.2 以上～ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454） 1x10 ～1x10 Ω程度
下地がセメント系、木質系以外の場合の接着剤の種別 [表6.8.1、表6.8.2]
※床材製作所の仕様による・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6.8.2]

⑭カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考(参考品番)
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・ウィルトン ・ダブルフェース ・アキスミンスター	※無地 ・柄物（標準品）	・適用する ・適用しない	

無地の織じゅうたんの種別 ・A種 ・B種 ・C種
下敷き材 ※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
接合方法 ※ヒートボンド工法 ・

・タフテッドカーペット [6.9.2～3]

パイル形状	パイル長さ（mm）	工 法	帯電性	備考(参考品番)
・カットパイル	※ 5～7	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する （性能： ※人体耐電圧 3kv 以下 ・ ） ・適用しない	
・ループパイル	※ 4～6			
・レベルループパイル	※ 4			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm

(・)タイルカーペット [6.9.2～3]

パイル形状	種 別	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備 考
(※)ループパイル	※第一種 ・第二種	脱衣室踏込	※500×500 ・	(※)6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方
平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物 材質（ ）
種類（ ）
形状等 ※図示 ・

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6.9.2]

15.合成樹脂塗床～16.畳敷き 省略

6-4 内装改修工事

⑱せっこうボード その他ボード及び合板張り

[6.13.2～3]

種 類	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	・15 ・20 ・25 ・
・中質木毛セメント板 G	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板 G	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板 G	・12 ・15 ・18 ・21
・普通木片セメント板 G	・30 ・
(・)けい酸カルシウム板 G	タイプ２（無石綿） ・6 (・)8
(・)ロックウール化粧吸音板	(・)フラットタイプ (・)9（不燃） ・12(不燃） ・ ） ・凹凸タイプ（・12（不燃） ・15(不燃） ・ ）
・ロックウール吸音ボード1号	・25
・グラスウール吸音ボード 32K	・25（ガラスクロス包） ・
(・)せっこうボード	(・)12.5（不燃） ・15（不燃） ・
・不燃積層せっこうボード	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
(・)シージングせっこうボード	12.5 (・)不燃 ・準不燃 ）
・強化せっこうボード	・12.5（不燃） ・15（不燃）
・せっこうラスボード	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	12.5（不燃） 幅 440mm 程度 模様（・柾目 ・板目）専用下地材有り
(・)化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	9.5（準不燃）
・普通合板 G	表面の材種 生地、透明塗料塗り （※ラワン程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ（mm）（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ） ・防虫処理
・天然木化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・１類 ・２類） 厚さ（mm）（ ） ・防虫処理
・特殊加工化粧合板 G	特殊加工の方法 （・オーバーレイ ・プリント ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・１類 ・２類） 厚さ（mm）（ ） ・防虫処理
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 厚さ（※1.2 ・ ）
・ポリエステル樹脂化粧板	
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張りパーティクルボード G	・未研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧パーティクルボード G	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10（難燃） ・12（難燃） ・
・ハードボード（素地） G	・無研磨板（・スタンダード ・テンパード） ・研磨板（・スタンダード ・テンパード）
・ハードボード（化粧） G	・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード G	A級（・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18

材料のホルムアルデヒド放散量
(・) F☆☆☆☆
・ 改修工事標準仕様書６．１３．２(b)(c)(d)による

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

遮音シール材 ・適用する（・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない

合板類の張付け ・B種 ・A種

せっこうボードの目地工法
(・) 継目処理工法
(・) 突付け工法
・ 目透し工法

⑲壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6.14.2～3]

施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考(参考品番)
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
脱衣室壁	・	・	(・)	・	・	(※)不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整 ※B種
コンクリート・ALC面の下地調整 ※B種
せっこうボード面の下地調整 ※B種

特記	
・	
・	
・	
・	

設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
・ ・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	
				図面名称 建築改修工事特記仕様書２ / 縮尺 _	A ── 2

6-5 内装改修工事

20 モルタル塗り

[6.15.3～6]

材料 ⊙現場調合材料（セメントは改修共通仕様書6.15.3による）
・既調合材料（　　）

既製目地材 ・ 設ける　施工箇所（　　）　形状（※ 図示　・　）
・ 設けない

床目地 ・ 設ける（工法：※ 押し目地　・　）　・ 設けない

壁モルタル塗りの厚さが25ｍｍを超える場合の下地処理 ・（　　）

⊙ 防水剤の品質・性能

項目	品質・性能
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	（凝結） 凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内 （安定性） 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりについて観察する。
曲げ及び圧縮強度比	70%以上
吸水比	95%以下
透水比	80%以下

21 タイル張り

[6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置
床タイル（※ 縦、横とも4m以内ごと　・ 図示　・　）
床タイル以外（・ 図示　・　）
伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

・セメントモルタルによるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法（mm）	再生材の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考（参考型番）
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　・ 行わない
見本焼き　・ 行う　・ 行わない
既調合モルタル　・適用する（品質等：　　）
コンクリート素地面の処理
・MCR工法　・目荒し工法
壁タイルの種類・大きさに応じた工法
内装タイル（小口平、二丁掛、100角）　⊙密着張り
・改良圧着張り
ユニットタイル（内装タイル以外）　・マスク張り
⊙モザイクタイル張り

・接着剤によるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法（mm）	再生材の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	備考（参考型番）
便所腰壁	100角	・	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　・ 行わない
見本焼き　・ 行う　・ 行わない
内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外

22.セルフレベリング材塗り

[6.17.2～3]

種類　・ せっこう系　・ セメント系
品質　※改修標準仕様書表6.17.2による　・

7 塗装改修工事

1 材　料

[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外

防火材料　※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする　（箇所　　）

2 下地調整・素地ごしらえ

[7.2.1～7][7.3.1～7]

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
※ 塗替え面積の（　　%）　・ 図示

下地調整

下地面の種類		塗替えの下地調整	新規塗装の素地ごしらえ	ひび割れ部の補修
木部	不透明塗料塗り	※ＲＢ種　・	※Ａ種	－
	透明塗料塗り	・	※Ｂ種	－
鉄鋼面		※ＲＢ種　・	※C種（ＤＰの場合※Ｂ種）	－
亜鉛めっき鋼面		※ＲＢ種　・	・Ｂ種　・Ａ種	－
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）		※ＲＢ種　・	・Ｂ種	－
モルタル面、プラスター面		※ＲＢ種　・	※Ｂ種　・Ａ種	・行う ・行わない
コンクリート面（ＤＰ以外）、ＡＬＣパネル面		※ＲＢ種　・	※Ｂ種　・Ａ種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面		・ＲＡ種　・ＲＢ種 ・ＲＣ種	※Ｂ種	・行う ・行わない
コンクリート面（ＤＰ）		・ＲＢ種　・ＲＣ種	・Ａ種　・Ｂ種	・行う ・行わない
せっこうボード面、その他ボード面		※ＲＢ種　・	継目処理工法　※Ａ種 その他の工法　※Ｂ種	－

3．錆止め塗料塗り

[7.4.2～3]

錆止め塗料塗りの種別

塗装面			塗料種別	工程
鉄鋼面	ＳＯＰ	塗替え	※Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	※Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	※Ａ種	※Ｂ種　・
	ＤＰ	塗替え　下地調整RA種	※1回目　Ｃ種 ※2,3回目　Ｄ種	※Ａ種　・
		塗替え　下地調整RB種及びRC種	※Ｅ種	※Ａ種　・
		新規見え掛り 新規見え隠れ	※1回目　Ｃ種 ※2,3回目　Ｄ種	※Ａ種　・
	ＥＰ－Ｇ	塗替え	※Ｂ種　・Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	※Ｂ種　・Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・
亜鉛めっき鋼面	ＳＯＰ	塗替え	※Ａ種　・Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
		新規鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種　・
	ＤＰ	塗替え	※Ｂ種	改修標準仕様書表7.4.6による
		新規見え掛り	※Ｂ種	
		新規見え隠れ	※Ｂ種	
	ＥＰ－Ｇ	塗替え	※Ｃ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り	※Ｃ種	※Ｂ種　・
		新規鋼製建具等	※Ｃ種	※Ａ種　・

4 塗装

[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）	木部屋外	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	木部屋内	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※Ａ種　・	※Ｂ種　・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
・クリヤラッカー塗り（ＣＬ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（ＮＡＤ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・耐候性塗料塗り（ＤＰ）	鉄鋼面　上塗り等級（　　）級	改修標仕 表7.8.1による	改修標仕 表7.8.1による
	亜鉛めっき面　上塗り等級（　　）級	改修標仕 表7.8.1による	改修標仕 表7.8.1による
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ－1種 ・Ｂ－1種 ・Ｃ－1種	・Ａ－1種 ・Ｂ－1種 ・Ｃ－1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	コンクリート面等	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	屋内の木部	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ａ種　・	※Ａ種　・
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）		※Ｂ種　・	⊙Ａ種　・Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・オイルステイン塗り（ＯＳ） 塗料（・油性　・水性）		－	－
・木材保護塗料塗り（ＷＰ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード、その他のボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書7.9.2（2）により、工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする

合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）の塗替えの場合のしみ止め
※ 改修標準仕様書 7.9.2（2）による　・

・ 高日射反射塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）　・ ＲＡ種　・ ＲＢ種　・ ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量（kg/㎡）
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	２種	・１級 ・２級 ・３級	塗料製造所の仕様による

9-1 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の除去工事

[9.1.1～9.1.6]

石綿粉じん濃度測定
・適用する　・適用しない

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・ 計　点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計　点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室以外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 計　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺・敷地境界	・ 計　点
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計　点
・	測定8	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・ 計　点
・	測定9		調査対象室外部の付近	・ 計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l/min）	試料の吸引時間（min）
・測定4　・測定5	25	5	30
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240
・測定			

石綿含有建材の処理

・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・ 図示
除去工法　※ 9.1.3(2)(ア)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止処置
※ 湿潤化　・ 固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有保温材の除去
除去対象範囲　・ 図示
除去方法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設）

⊙ 石綿含有成形板等の除去
除去対象範囲　・ 図示　⊙1階教場の壁石膏ボード及び壁ビニルクロス
クロス下パテに含まれており、分別が難しいため、石膏ボードとビニルクロスを一緒に処分する。

作業場周辺の養生
⊙行う（⊙養生シート　・　）
・行わない
除去した石綿含有成形板等の処分
・ 石綿含有せっこうボード
※ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上げ塗材の除去
除去対象範囲　・ 図示
石綿含有仕上げ塗材の除去工法
・電気グラインダー工法（・湿潤化　・　）
・高圧洗浄工法
・
除去した石綿含有仕上げ塗材（汚泥）の処理
・ 埋立処分（管理型最終処分場）

・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事
※ 図示による　・

⊙設計時のアスベスト調査

● ６検体採取及び分析を行った

部位・室名	材料名	分析結果
外部地覆	地覆モルタル混和剤	含有なし
１階教場	タイルカーペット接着剤	含有なし
１階教場	ソフト巾木接着剤	含有なし
１階教場	石膏ボードクロス下地パテ	含有あり（クリソタイル）
２階便所	床ビニルタイル接着剤	含有なし
２階便所	壁タイル接着剤	含有なし
外部地覆	外壁下端シーリング	材種判定により分析対象外（変成シリコーン系）

⊙着手時に調査が必要な箇所

● ５検体分析が必要。

部　位	材料名
小便器（既存TOTO製）	Ｐシール、Ｐシールガスケット（平成16年・2004年まで使用）
和式大便器（既存TOTO製）	
洋式大便器（既存TOTO製）	
掃除流し（既存TOTO製）	
洗面器（既存TOTO製）	

⊙上記のほか、調査により必要な箇所を監督職員と協議すること。

2．外断熱改修工事～5．透水性アスファルト舗装改修工事　省略

以下は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版より、抜粋

20 ユニット及びその他工事

1 ～ 11 省略

12 ブラインド

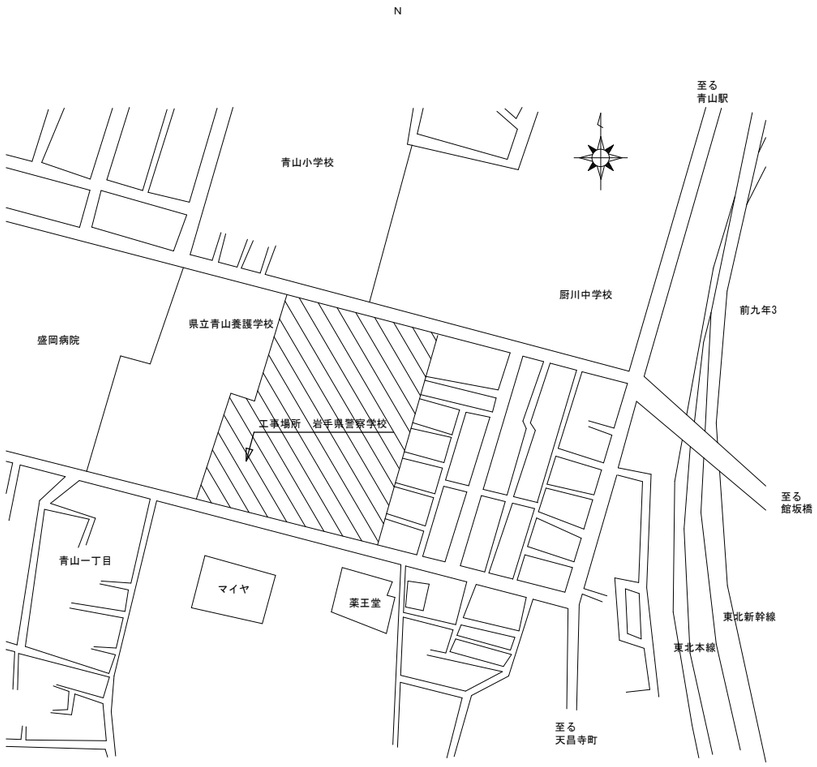
材料等　（※幅・高さは図示による）　(20.2.14)

形　式	種　類	スラット等の材質		スラット幅(mm)	備　考
・横型	※ギヤ式 ⊙コード式 ・操作棒式	スラット	※アルミニウム合金製 E	※25 ⊙50	
		ヘッドボックス	※鋼製　・		
		ボトムレース	※鋼製　・		
・縦型	※ 2本操作コード式 ・1本操作コード式	スラット	・アルミスラット ・クロススラット	・	開閉方式 ・片開き ・両開き

アルミスラット：焼付塗装仕上　クロススラット：消防法による防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

特記	
・	
・	
・	
・	

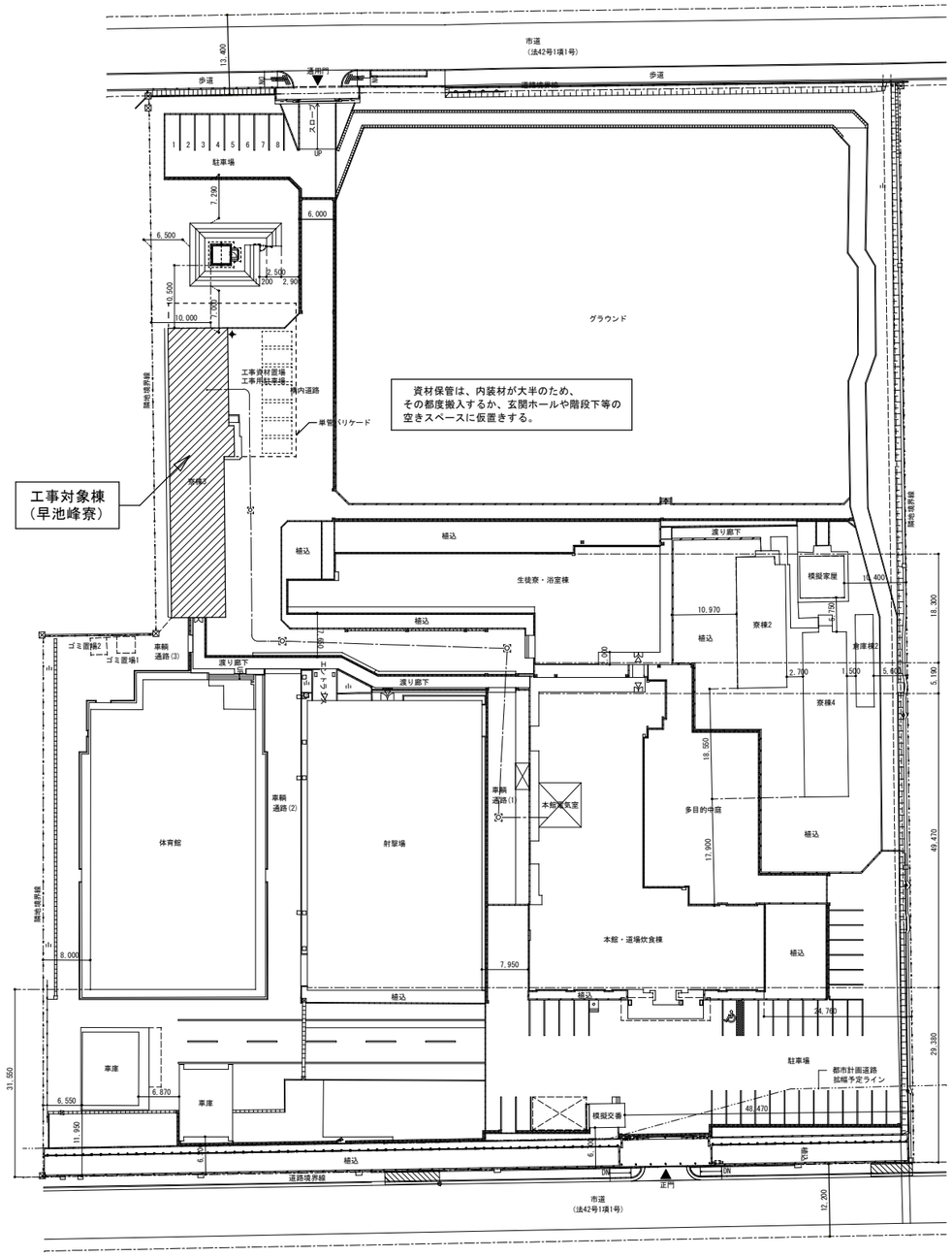
設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ── 3
				図面名称：建築改修工事特記仕様書３　縮尺：－	



付近見取図

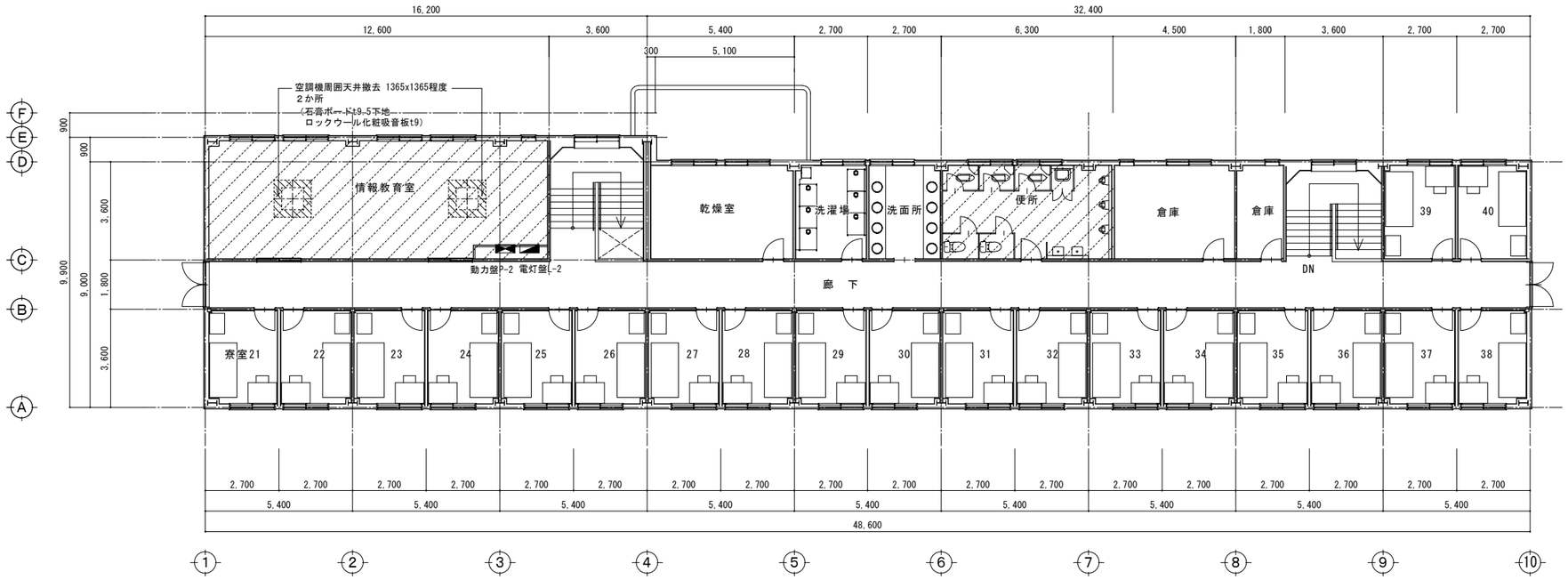
凡例

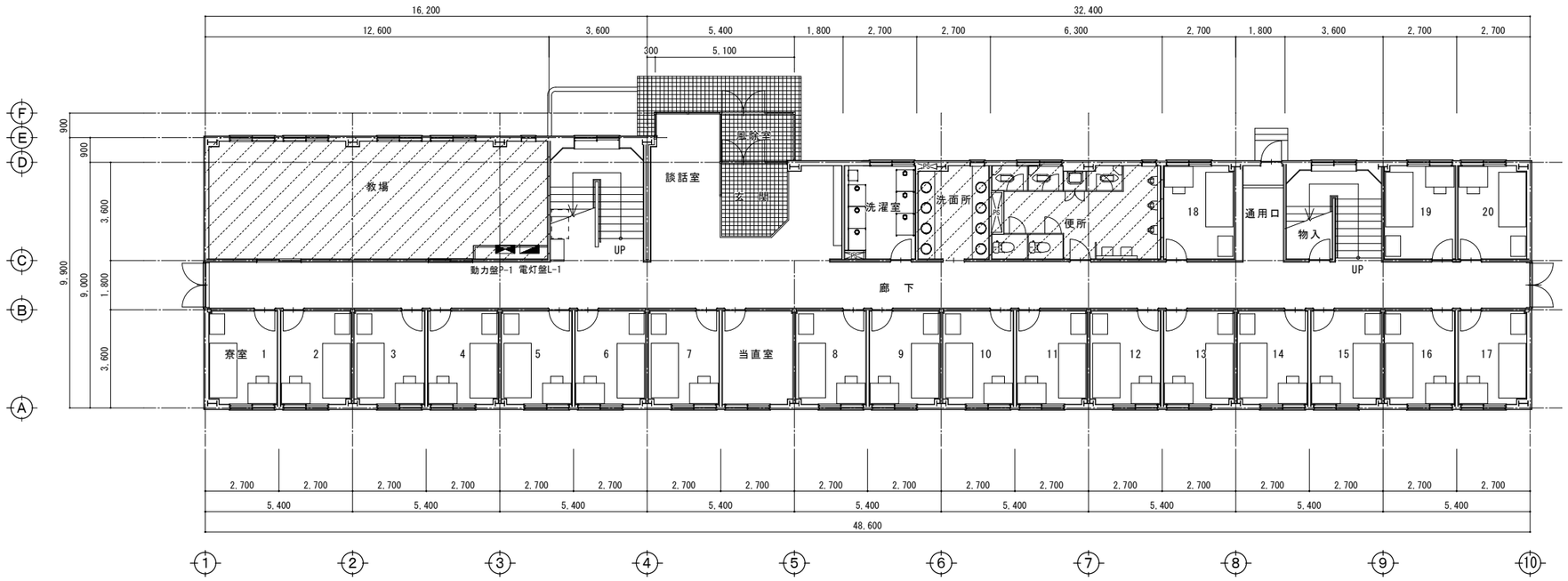
赤囲みは、改修対象建物を示す



配　置　図　S=1/500

特記	・			設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事		図面番号
	・			・　・				図面名称	付近見取図、配置図	縮尺 A1：1/500 A3：1/1000	A ― 4
	・										
	・										

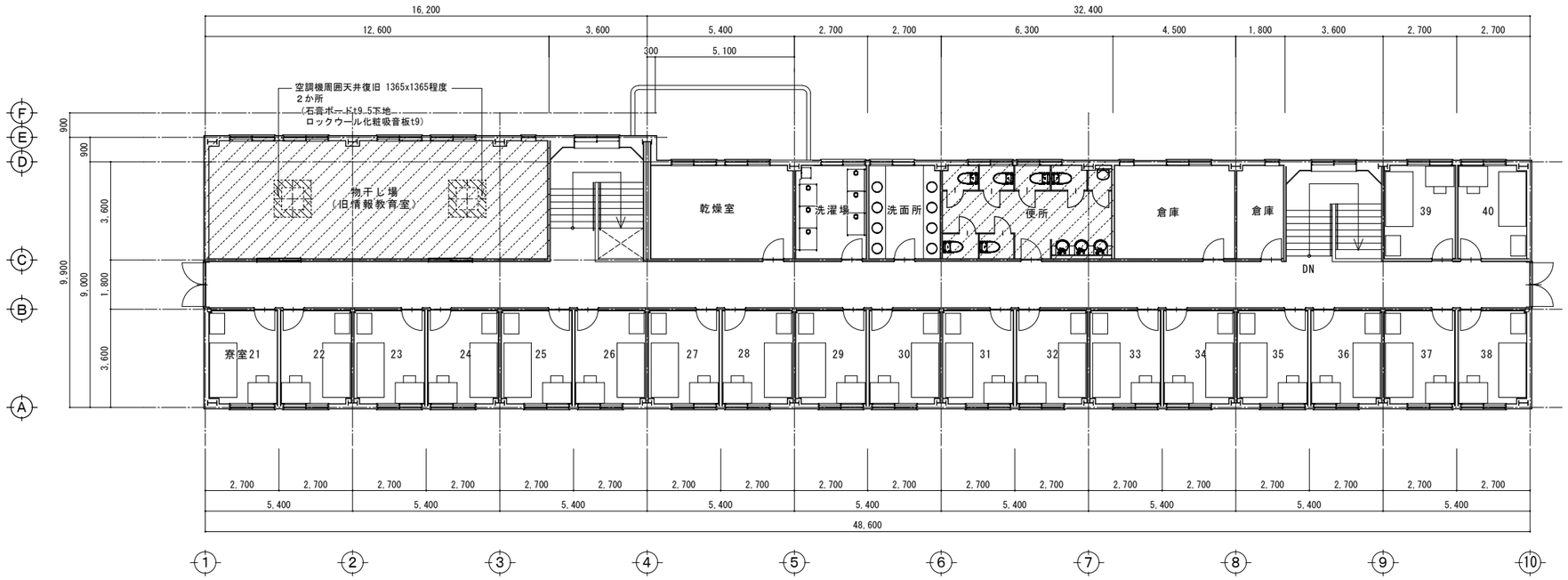


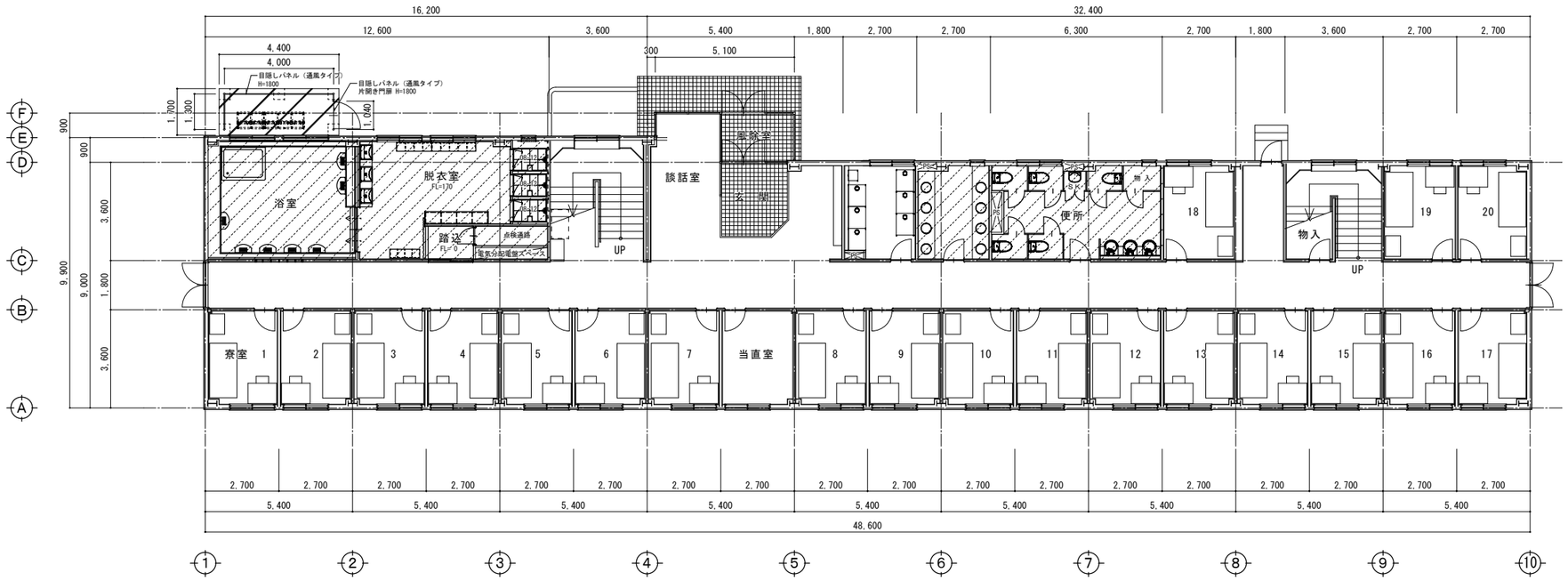


凡例

改修対象室を示す

特記			設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
	・		・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ― 5
	・						図面名称 【既存】１階・２階平面図	縮尺 A1：S=1/100 A3：S=1/200
	・							
	・							

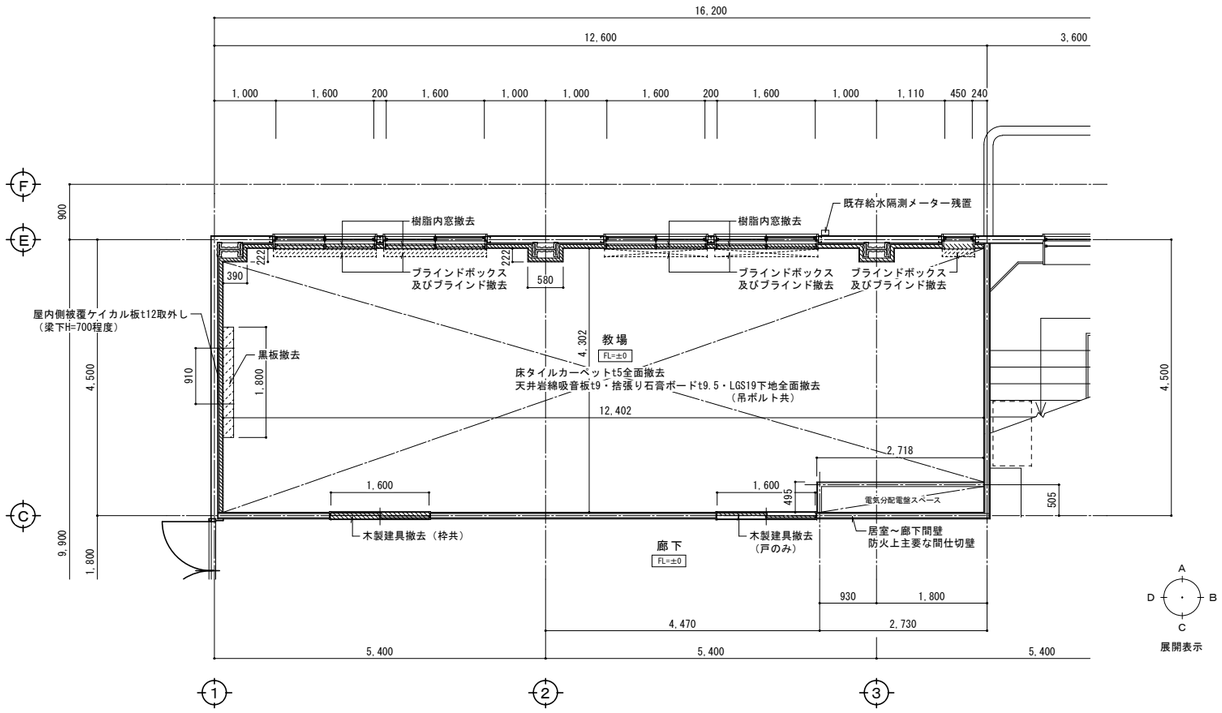




凡例

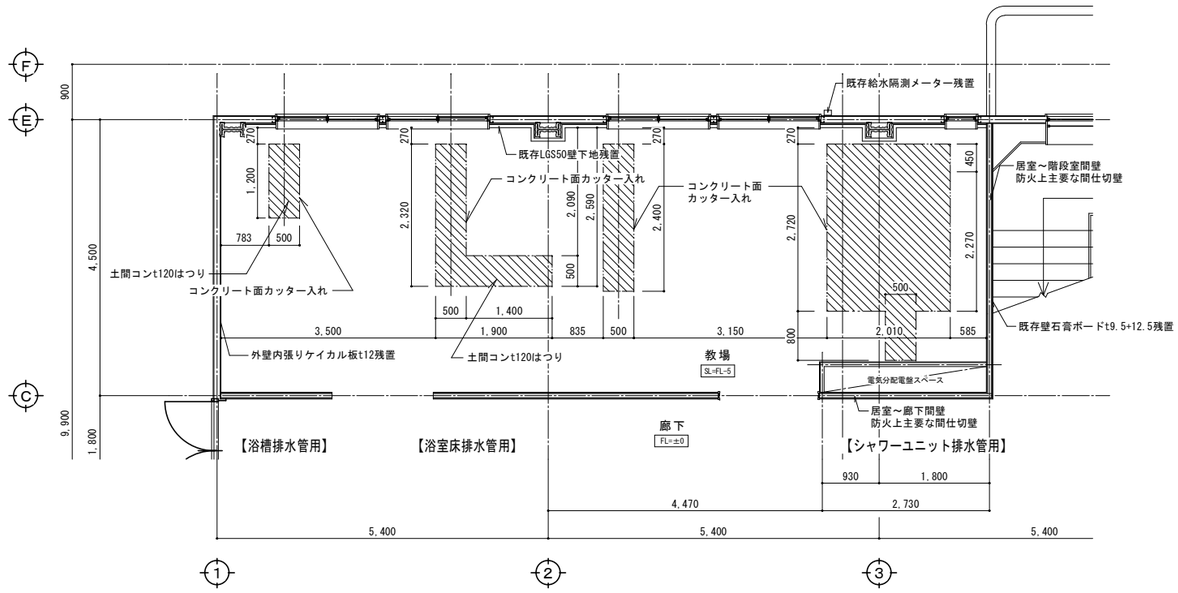
改修対象室を示す

特記			設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
	・		・ ・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A — 6
	・						図面名称 【改修】１階・２階平面図	縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
	・							
	・							



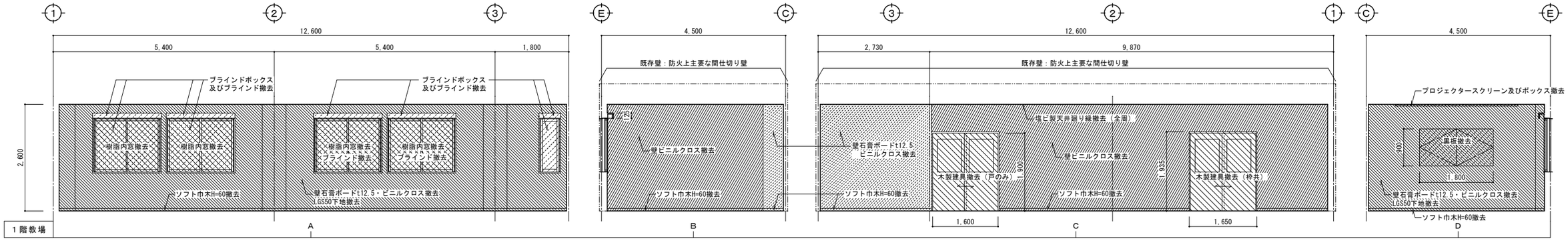
1階教場既存平面詳細図　S=1/50

屋外撤去、復旧：機械設備工事
・アスファルト舗装撤去、復旧
・給排水管新設のための掘削、埋め戻し



※浴槽排水位置は、採用する浴槽に
合わせて調整すること。

1階教場土間はつり撤去図　S=1/50



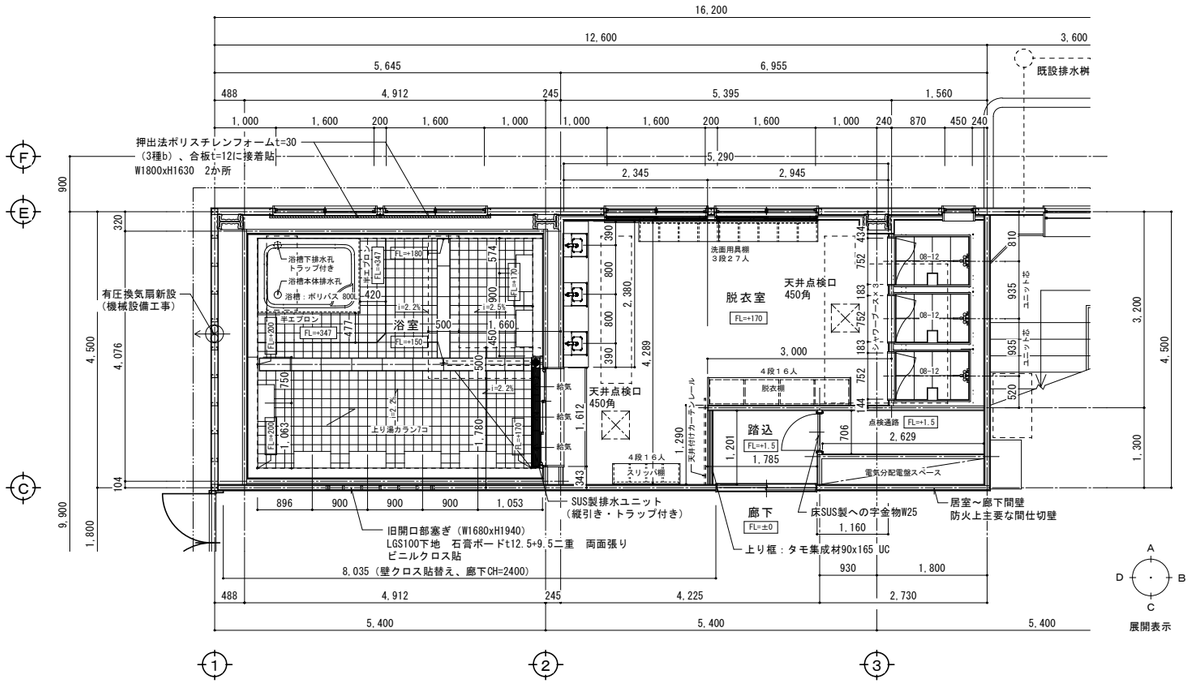
1階教場仕上表	
部位	仕　上
床	タイルカーペットt5撤去
巾木	ビニル巾木H60撤去
壁	石膏ボードt12.5及びビニルクロス撤去 ※階段室側及び廊下側は、ビニルクロスのみ撤去
天井	石膏ボードt9.5捨張り及び岩綿吸音板t9撤去 LGS19天井下地撤去
備考	プロジェクタースクリーン及びボックス撤去 黒板撤去 木製建具（枠共撤去）１か所、木製建具（戸のみ撤去）１か所 ブラインドボックス及びブラインド撤去３か所 ブラインドボックス残置２か所

←既存壁クロスパテ（石膏ボード目地埋め材）にアスベスト含有があるため、
ビニルクロスと石膏ボードを共に含有材として撤去・処分すること

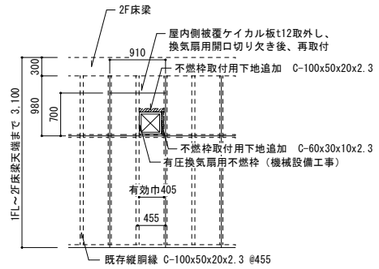
※配管施工に伴い、基礎貫通穴あけ（コア抜き）前には鉄筋探査を行い
鉄筋を切らないよう施工すること。

特記		
	・	外壁被覆のケイカル板及び鉄骨面の耐火被覆ロックウールは、アスベスト含有なし。
	・	既存タイルカーペット接着剤には、アスベスト含有なし。
	・	既存壁クロスパテ（石膏ボード目地埋め材）にアスベスト含有あり
	・	

設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ― 7
				図面名称：【既存】１階教場撤去図　平面詳細図、展開図　縮尺 A1：1/50 A3：1/100	



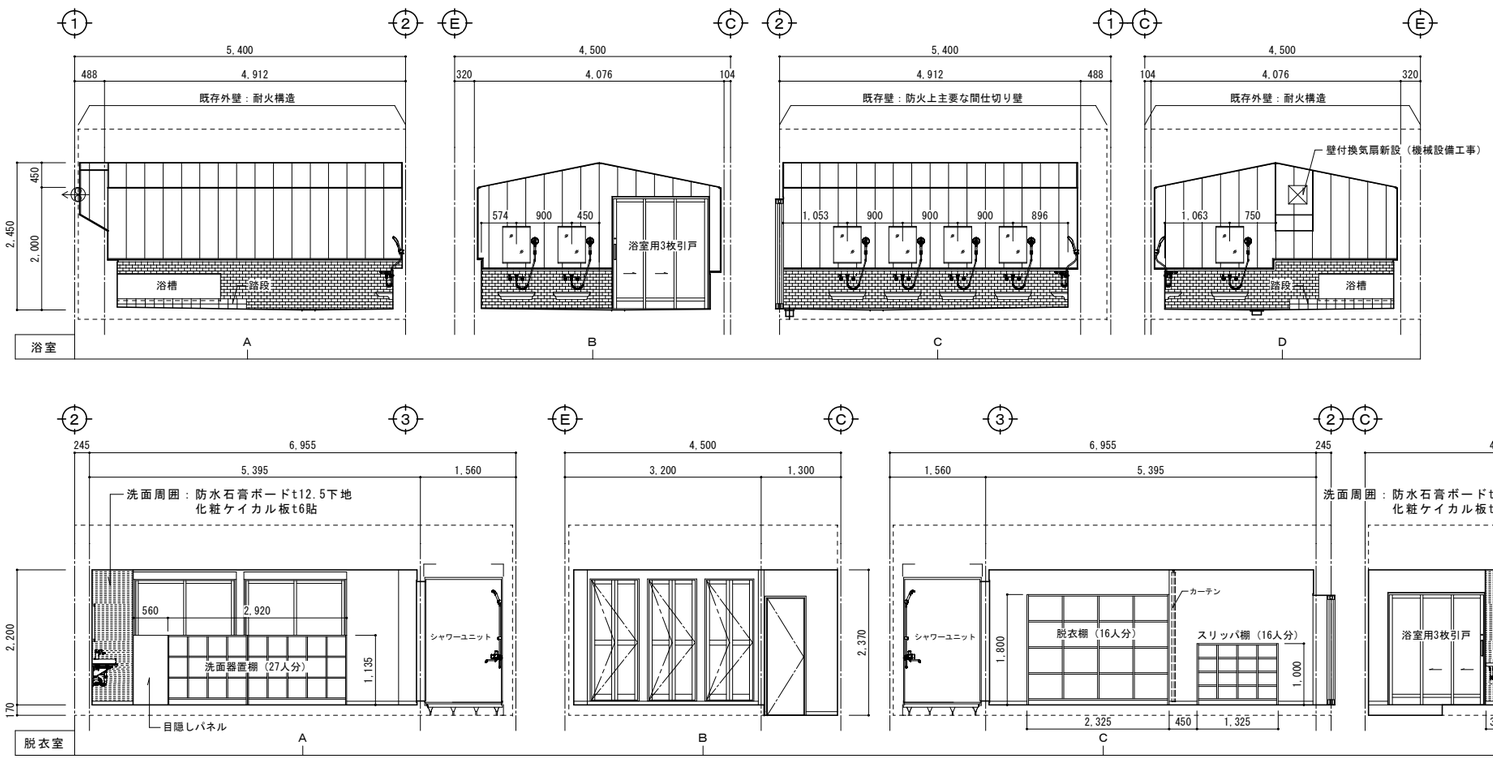
浴室・脱衣室改修平面詳細図　S=1/50



浴室壁付換気扇廻り補強図　S=1/50

浴室洗い場シャワー付き混合水栓、化粧鏡、機械設備工事とする。

脱衣室洗面器（水洗共）、化粧鏡は、建築工事とする。



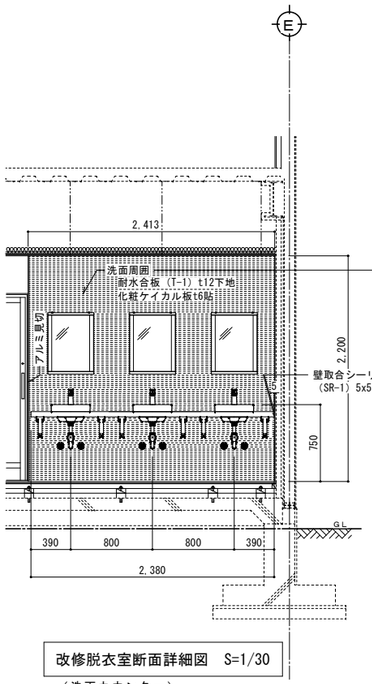
1階浴室仕上表	
部位	仕　上
床	防水モルタル塗り下地　磁器質床用150角タイル貼
腰壁	防水モルタル塗り下地　磁器質50二丁掛タイル貼 LGS65下地耐水合板t12張りのうえ、気密シート張り フェノールフォーム保温板t20打込みコンクリート腰壁新設
壁	LGS65下地耐水合板t12張りのうえ、気密シート張り 浴室用仕上材t9（巾300）張り（フクビ　バスパネル準不燃300-I型同等） 断熱材：グラスウール（密度16K）t50充填
天井	LGS25下地耐水合板t9張りのうえ、気密シート張り　　専用見切り縁：塩ビ製 浴室用仕上材t9（巾300）張り（フクビ　バスパネル準不燃300-I型同等） 断熱材：グラスウール（密度16K）t100充填
備考	出入口部排水溝：SUS製排水ユニットL1800（縦引き・トラップ付） 床排水溝：SUS製溝蓋（受枠SUS製）蓋巾200 浴槽：大型ポリバス　容量800L　2方 半エプロン付き 腰壁笠木：御影石t30　2面磨き（D200及びD90） 洗面器台：樹脂製W600xD275（LIXIL同等） 浴室用仕上材各部水切、見切：アルミ製 出入口引戸：浴室用３枚建て引戸（LIXIL同等）

バスパネル準不燃認定番号：QM-0515

1階脱衣室仕上表	
部位	仕　上
床	木造床組　耐水合板t12　2重張り下地　発泡複層ビニル床シートt2.5（籐柄） 踏込床：タイルカーペットt6.5敷き
巾木	塩ビ製巾木　H=60
壁	防水石膏ボードt12.5下地ビニルクロス貼 洗面周囲：耐水合板（T-1）t12下地　化粧ケイカル板t6貼
天井	防水石膏ボードt9.5捨張り耐湿ロックウール吸音板t9貼　　廻り縁：塩ビ製
備考	上り框：タモ集成材90x165（床取り合いシーリング処理） スリッパ棚・脱衣棚・洗面道具棚：両面メラミン化粧パーティクルボードt20 洗面カウンター：メラミン化粧パネルt19（芯材耐水MDF） アルミ製カーテンレール（天井付け）、カーテンH2100、ブラインド シャワーユニット：0812サイズ　３基 樹脂内窓（複層ガラス）新設、既存アルミサッシガラス面熱線反射シート貼 土間コン一部撤去、復旧 天井点検口アルミ製450角

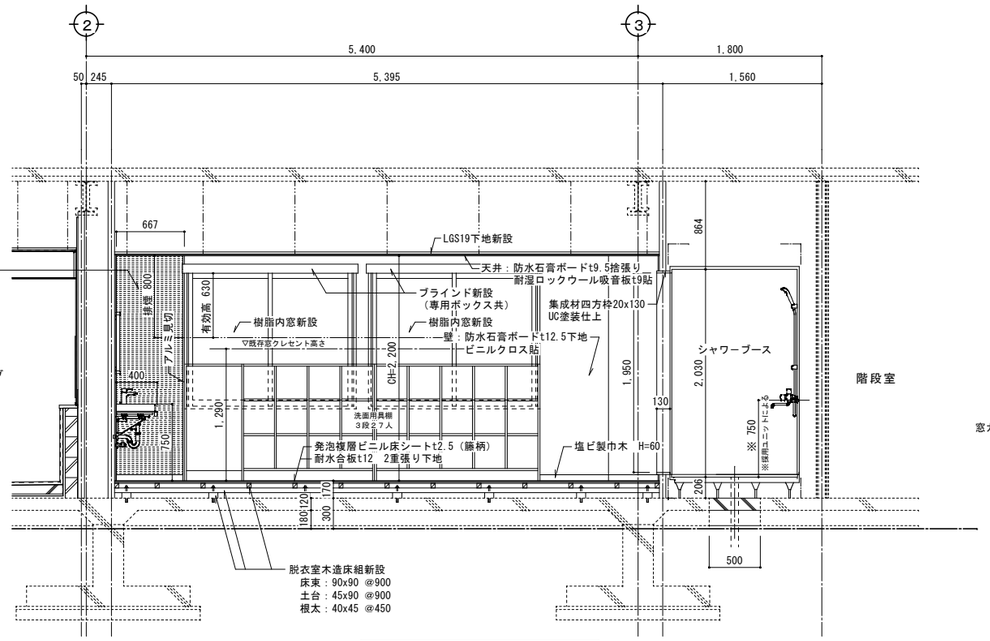
1階点検通路仕上表　　CH=2200	
部位	仕　上
床	既存コンクリート下地　ビニル床シートt2.5貼
巾木	塩ビ製巾木　H=60
壁	石膏ボードt12.5張り　EP塗装
天井	化粧石膏ボードt9.5捨張り
備考	既存分電盤面　石膏ボードt12.5及びビニルクロス撤去（アスベスト含有材） 盤改修後　石膏ボードt12.5張り　EP塗装

特記		設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	図面番号
・		・　・				図面名称	【改修】1階浴室・脱衣室　平面詳細図、展開図　縮尺 A1：1/50 A3：1/100	A — 8



改修脱衣室断面詳細図　S=1/30

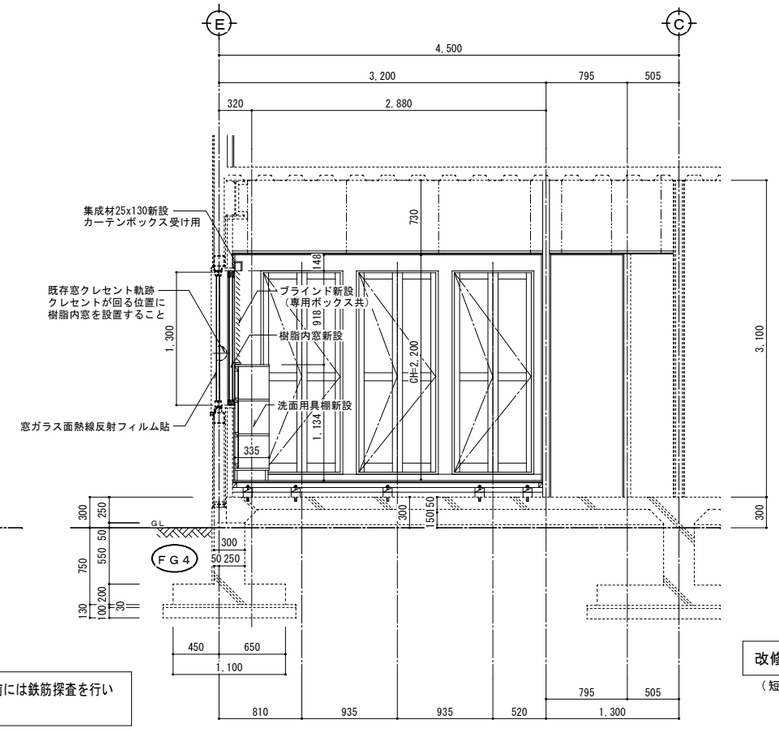
（洗面カウンター）



改修脱衣室断面詳細図　S=1/30

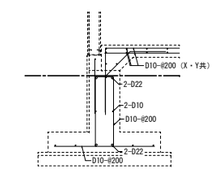
（長辺方向）

※配管施工に伴い、基礎貫通穴あけ（コア抜き）前には鉄筋探査を行い
鉄筋を切らないよう施工すること。

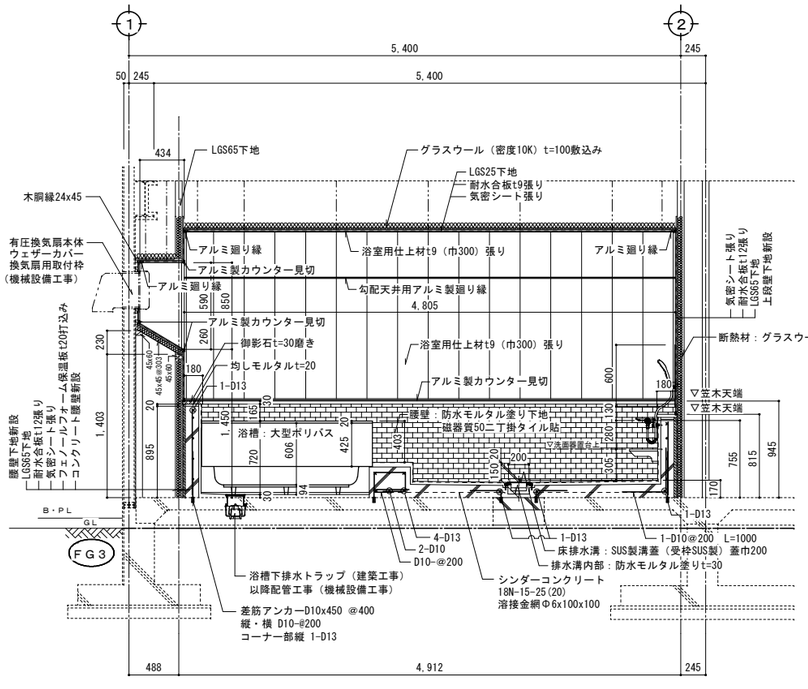


改修脱衣室断面詳細図　S=1/30

（短辺方向）

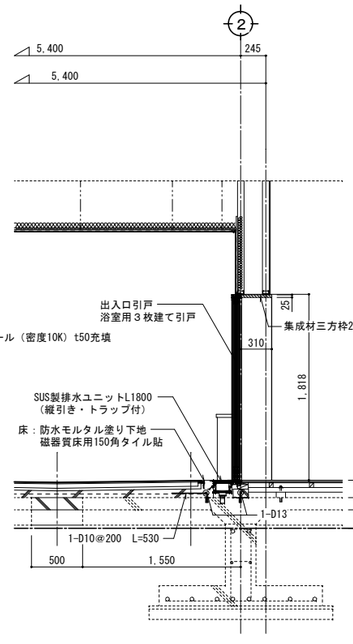


既存基礎配筋図　S=1/30



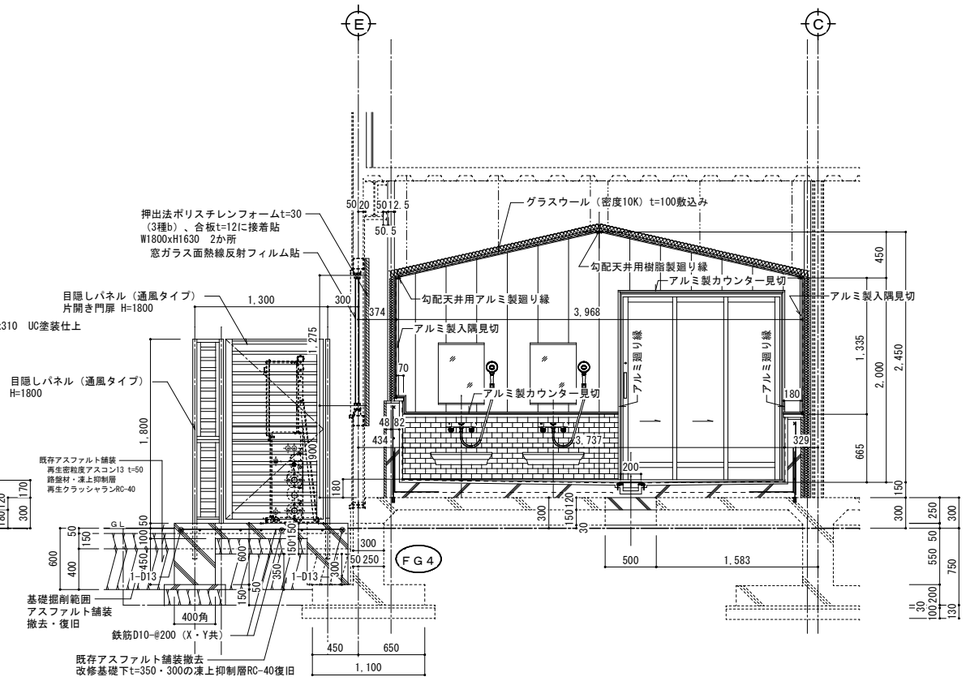
改修浴室断面詳細図　S=1/30

（長辺方向）



改修浴室断面詳細図　S=1/30

（浴室出入口部）



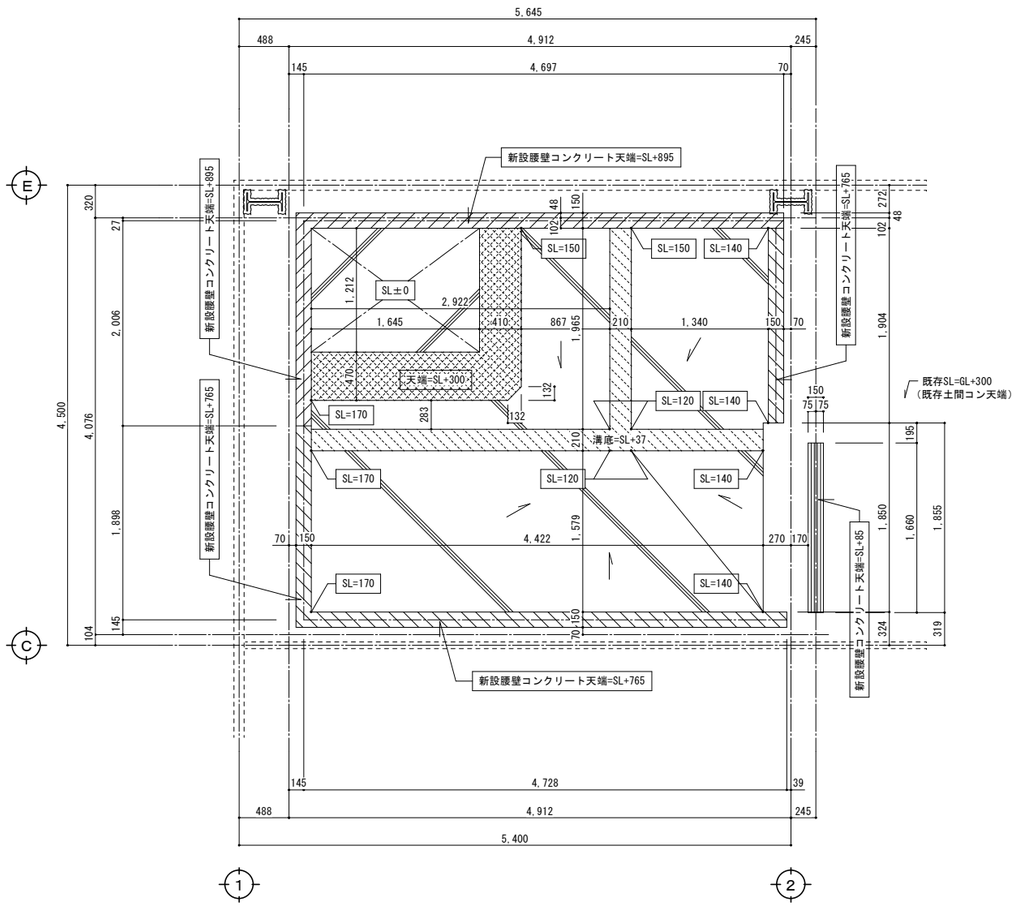
※短辺端部（両端）鉄筋も1-D13とする。
※鉄筋SD295A
※コンクリート　捨コン18N-15-25
基礎・土間コン21N-15-25

改修浴室断面詳細図　S=1/30

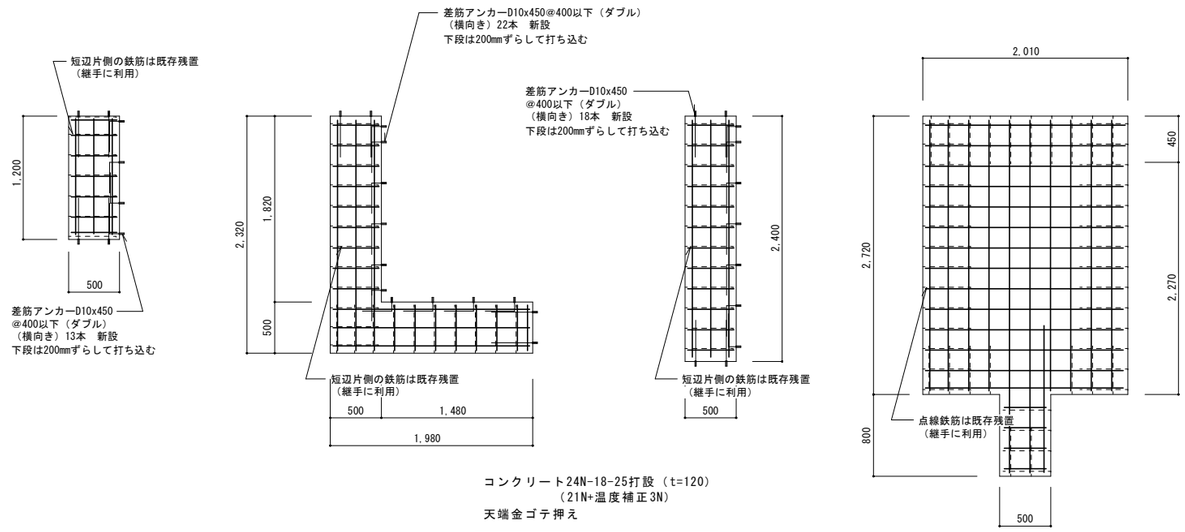
（短辺方向）

目隠しパネル（通風タイプ）及び片開き門扉
参考メーカー・品番
積水樹脂　めかくし塀Ｖ型（通風タイプ）同等品

特記	・		設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	図面番号
	・		・　・				図面名称	【改修】浴室・脱衣室廻り詳細図　縮尺 A1：1/30 A3：1/60	A ― 9
	・								
	・								



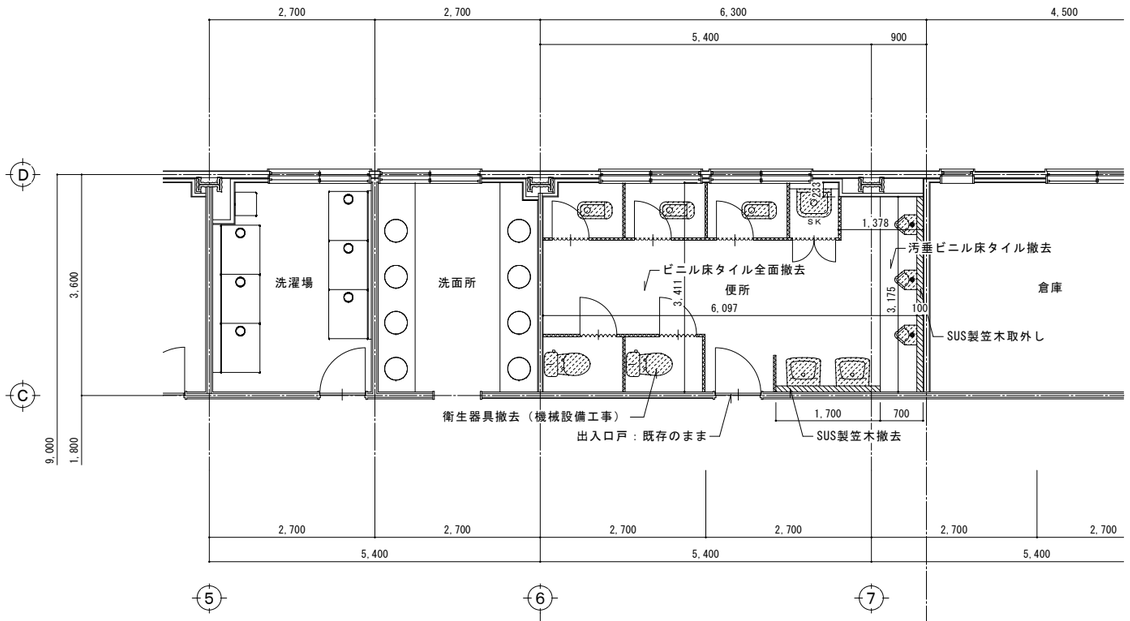
浴室下地コンクリート伏図　S=1/30



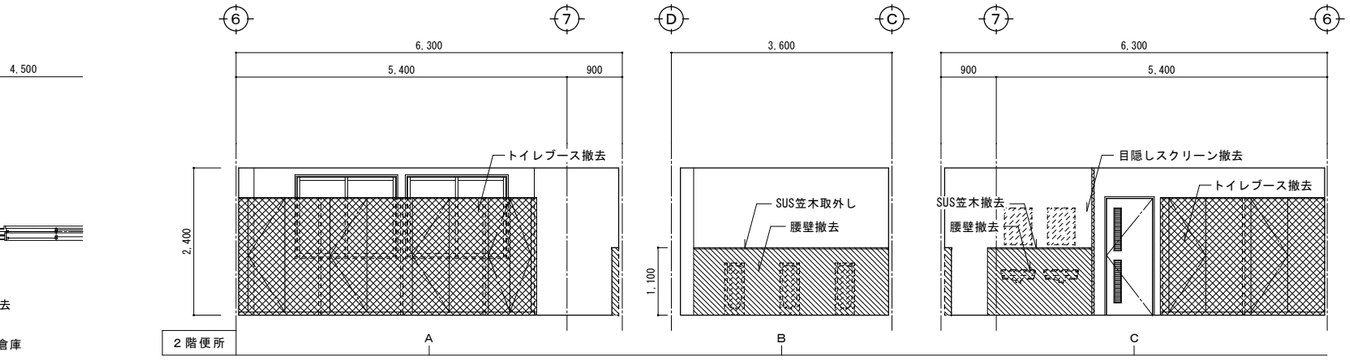
コンクリート24N-18-25打設（t=120）
（21N+温度補正3N）
天端金ゴテ押え

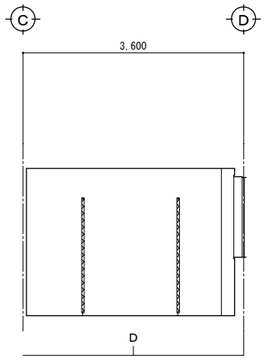
土間はつり箇所復旧図　S=1/30

特記			設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
	・		・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ── 10
	・						図面名称　【改修】　土間復旧、腰壁新設図　縮尺 A1：1/30 A3：1/60	
	・							
	・							

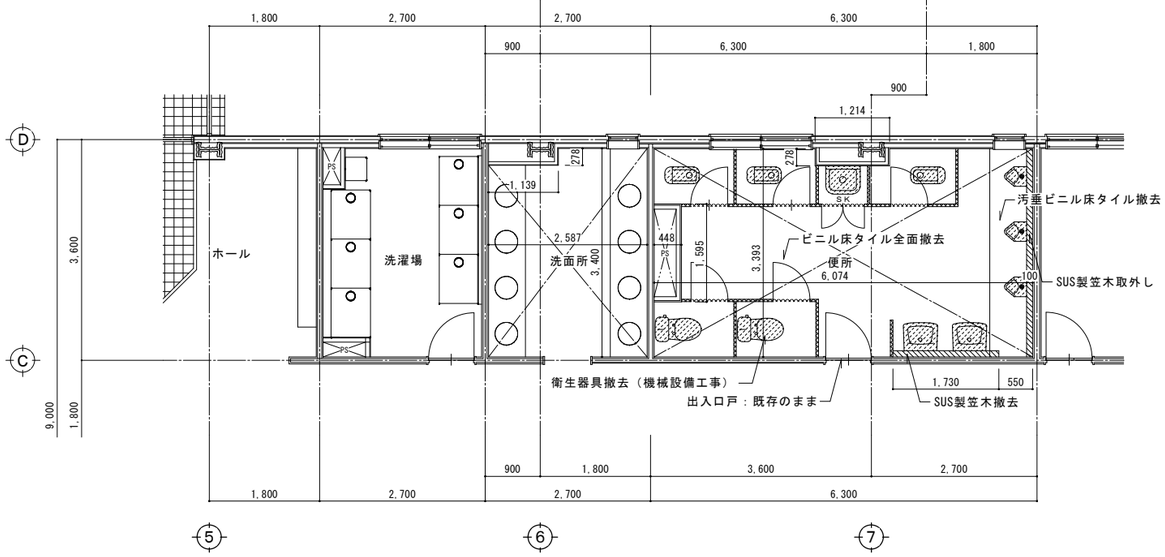


2階便所既存平面詳細図　S=1/50





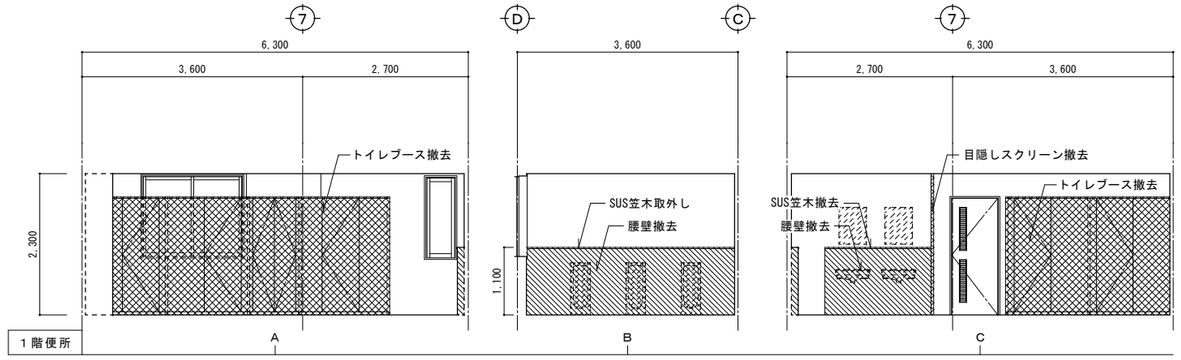
2階便所　既存仕上表	
部位	仕　上
床	ビニル床タイルt2撤去
腰壁	防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼 手洗い器及び小便器背面　腰壁タイル・ボード・LGS50下地撤去
壁	防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼
天井	ケイカル板t6張り　AEP
備考	トイレブース、目隠しスクリーン撤去 手洗い器背面壁：SUS笠木撤去 小便器背面壁：SUS笠木取外し 各衛生器具及び化粧鏡撤去：機械設備工事

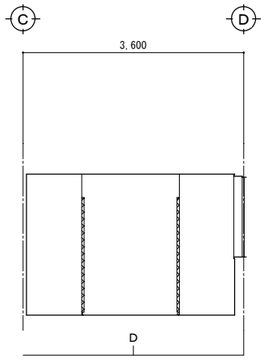


1階便所既存平面詳細図　S=1/50

凡例

- 天井ケイカル板t6撤去範囲（1階洗面所、便所）
- 腰壁撤去範囲
- トイレブース、目隠しスクリーン撤去範囲
- 衛生器具撤去（機械設備工事）

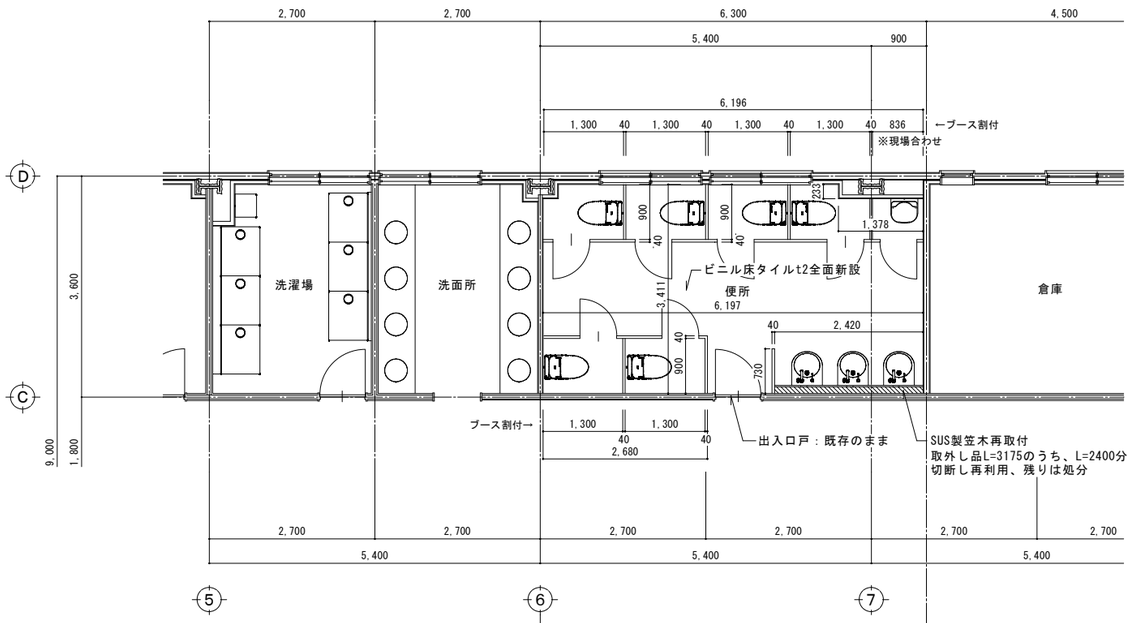




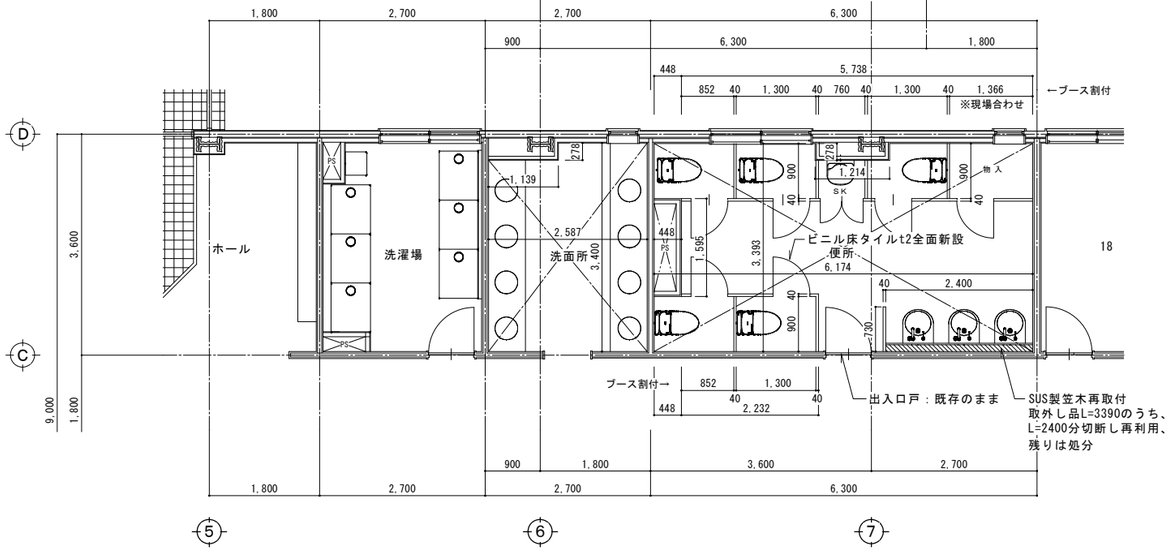
1階便所　既存仕上表	
部位	仕　上
床	ビニル床タイルt2撤去
腰壁	防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼 手洗い器及び小便器背面　腰壁タイル・ボード・LGS50下地撤去
壁	防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼
天井	LGS19下地及びケイカル板t6　AEP撤去
備考	トイレブース、目隠しスクリーン撤去 手洗い器背面壁：SUS笠木撤去 小便器背面壁：SUS笠木取外し 各衛生器具及び化粧鏡撤去：機械設備工事

特記		
	・	洗面所・便所天井のケイカル板及び鉄骨面の耐火被覆ロックウールは、アスベスト含有なし。
	・	
	・	
	・	

設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ― 11
				図面名称：【既存】1階・2階便所 平面詳細図、展開図	縮尺 A1：S=1/50 A3：S=1/100



２階便所改修平面詳細図　S=1/50

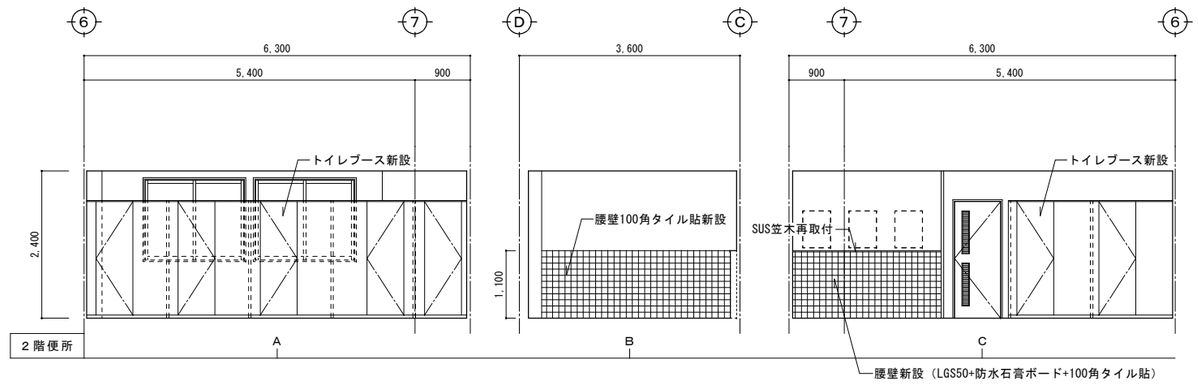


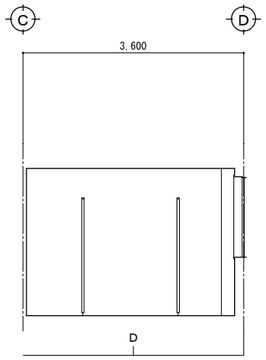
１階便所改修平面詳細図　S=1/50

凡例

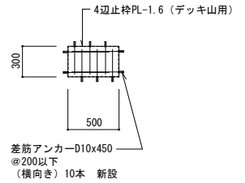
天井ケイカル板t6　EP塗装新設範囲
（１階洗面所、便所）

腰壁新設範囲





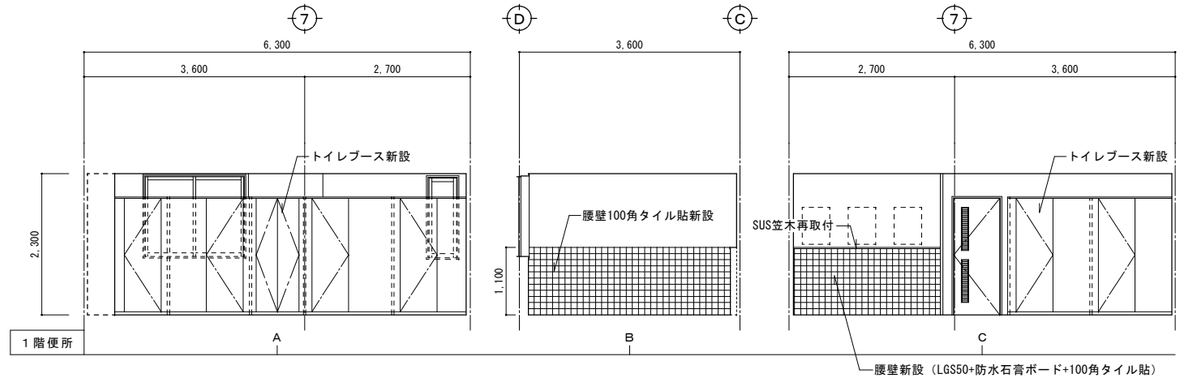
２階便所　改修仕上表	
部位	仕　上
床	ビニル床タイルt2新設
腰壁	手洗い器・小便器背面 防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼新設 手洗い器背面　腰壁タイル・ボード・LGS50下地新設
壁	防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼：既存のまま
天井	ケイカル板t6張り　AEP：既存のまま
備考	トイレブース、目隠しスクリーン新設 手洗い器背面壁：SUS笠木取外し品、切断、再取付 各衛生器具及び化粧鏡新設：機械設備工事

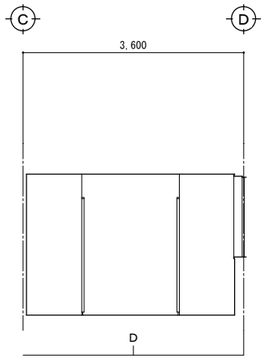


コンクリート24N-18-25打設（t=105）
（21N+温度補正3N）
天端金ゴテ押え

和式便器撤去穴復旧図　S=1/30

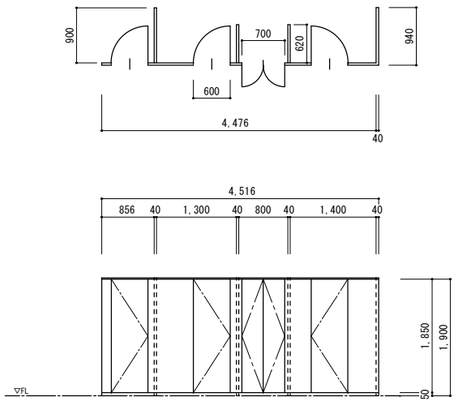
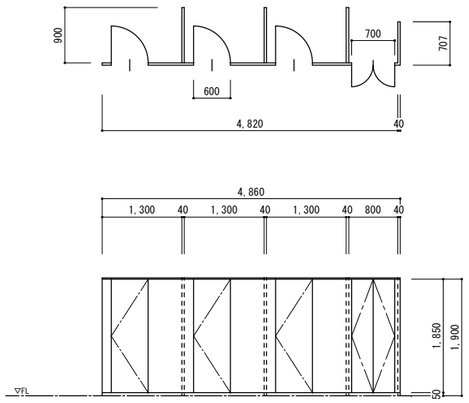
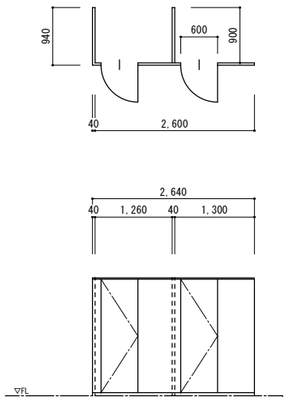
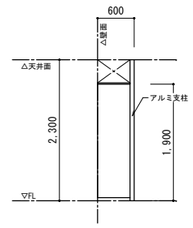
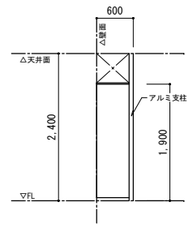
２階　３か所



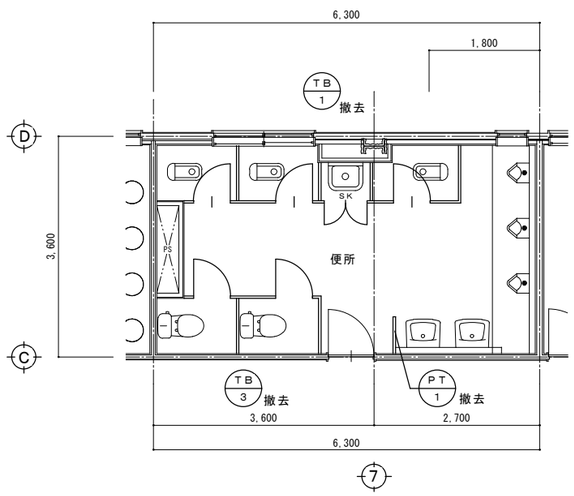


１階洗面所　改修仕上表		１階便所　改修仕上表
部位	仕　上	仕　上
床	既存のまま	ビニル床タイルt2新設
腰壁	既存のまま	手洗い器・小便器背面 防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼新設 手洗い器背面　腰壁タイル・ボード・LGS50下地新設
壁	既存のまま	防水石膏ボードt12.5捨張り　100角タイル貼：既存のまま
天井	LGS19下地及びケイカル板t8　EP塗装新設	LGS19下地及びケイカル板t8　EP塗装新設
備考		トイレブース、目隠しスクリーン新設 手洗い器背面壁：SUS笠木取外し品、切断、再取付 各衛生器具及び化粧鏡新設：機械設備工事

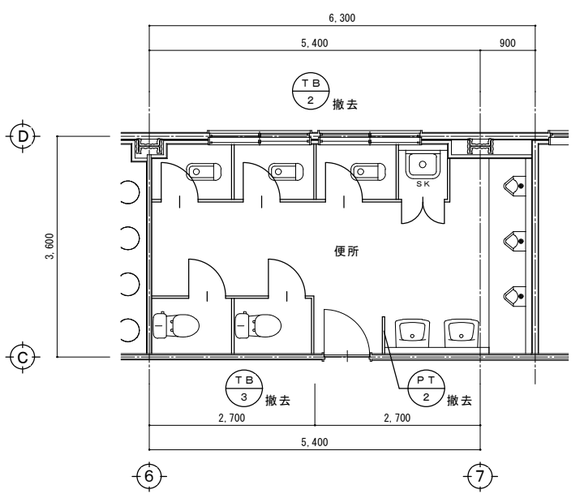
特記		設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
	・	・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ― 12
	・					図面名称：【改修】１階・２階便所 平面詳細図、展開図	縮尺：A1：S=1/50　A3：S=1/100
	・						
	・						

符号・名称・数量	撤去ＴＢ－１　１か所	撤去ＴＢ－２　１か所	撤去ＴＢ－３　２か所	撤去ＰＴ－１　１か所	撤去ＰＴ－２　１か所
室　名	１階便所	２階便所	１・２階便所	１階便所	２階便所
姿　図					
材種・仕上	ポリ合板フラッシュ（芯材ペーパーコア）t=40			ポリ合板フラッシュ（芯材ペーパーコア）t=40	
ガラス	－			－	
金　物	標準金物一式、表示付スライドロック錠、戸当たり、丁番、SUS巾木、アルミ笠木			標準金物一式、SUS巾木、アルミ笠木、アルミ支柱	
備　考					

撤去建具配置図



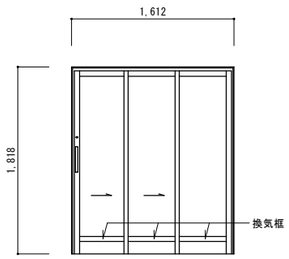
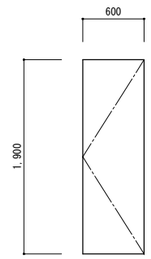
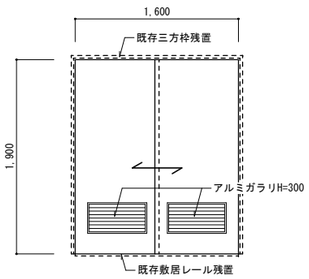
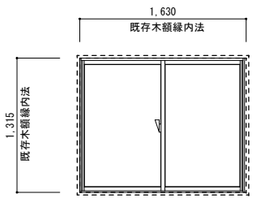
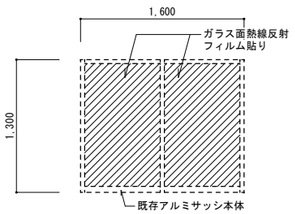
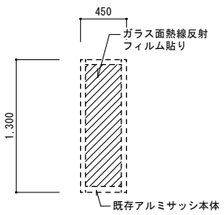
１階便所



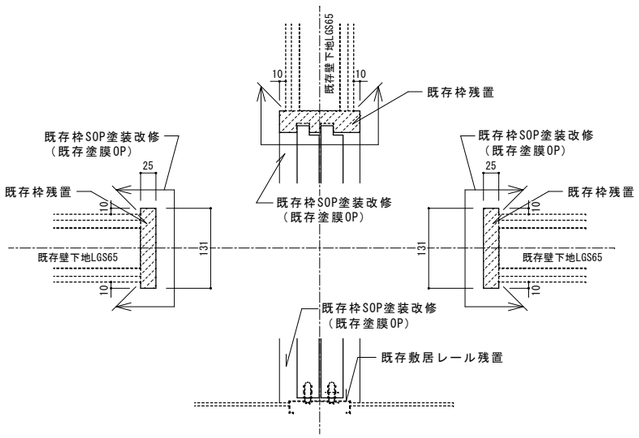
２階便所

撤去建具配置図　S=1/50

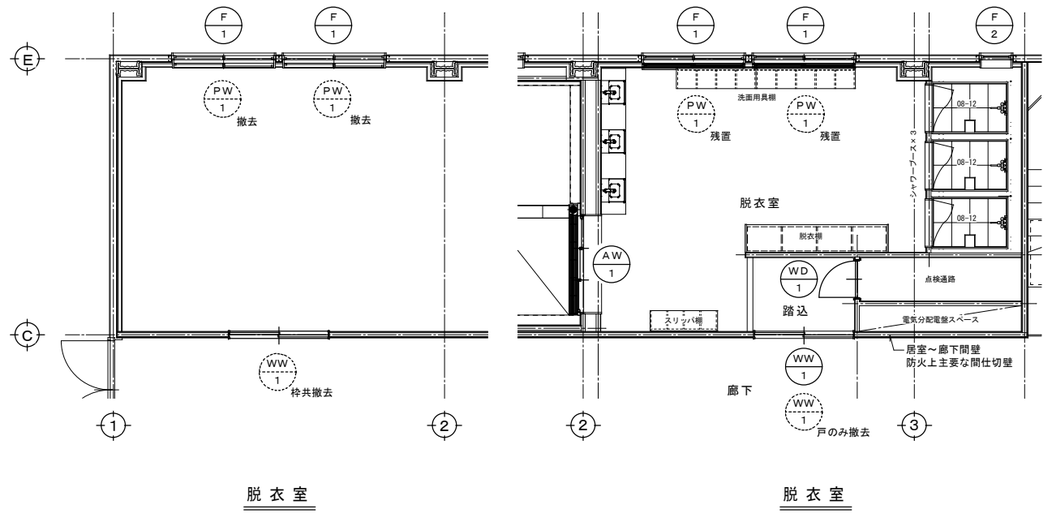
特記		設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
	・	・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ― 13
	・					図面名称 【既存】撤去建具表、建具配置図	縮尺 A1：1/50 A3：1/100
	・						
	・						

符号・名称・数量	ＡＷ－１　３枚建て片引き戸　１台	ＷＤ－１　片開き戸　１台	ＷＷ－１　引違い戸（戸のみ）　１台	ＰＷ－１　樹脂内窓　２台	Ｆ－１　フィルム貼り　４台	Ｆ－２　フィルム貼り　１台
室　名	浴室	点検通路	脱衣室	脱衣室	脱衣室、浴室塞ぎ部	脱衣室
姿　図						
材種・仕上	アルミ製、カラー	ポリ化粧合板フラッシュt=36	ポリ合板フラッシュt=36　SOP塗装	樹脂製・カラー	既存アルミサッシガラス面	既存アルミサッシガラス面
ガラス	樹脂パネルt=3.5	－	－	複層 F4-A11-F3　ガラスフィルム貼り（不透明タイプ）	熱線反射フィルム貼り（不透明タイプ）	熱線反射フィルム貼り（不透明タイプ）
金　物	バーハンドル、他付属品一式 排水ユニットL=1800 （SUS製ノンスリップ蓋、たて引き・トラップ付き）	レバーハンドル錠 床SUS製への字押え金物W=25	引手、戸車、アルミガラリ	クレセント、付属品一式	－	－
備　考	LIXIL　BF浴室３枚引戸、YKK AP　ドアリモ浴室３枚片引き戸、 三協アルミ　浴室３枚引き戸　同等品					

ＷＷ－１　既存枠

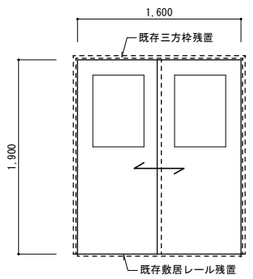
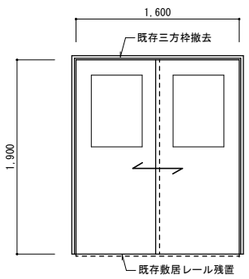
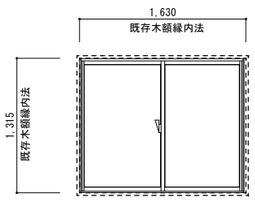


建具配置図　S=1/50

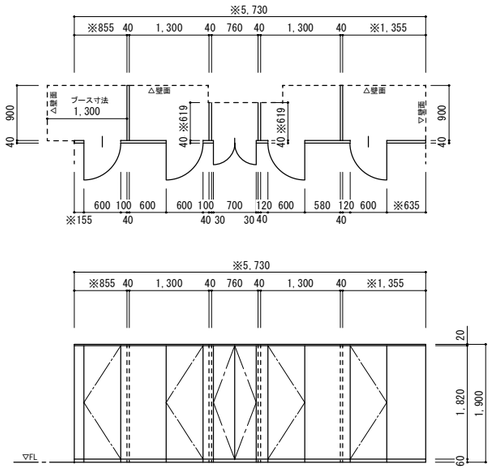
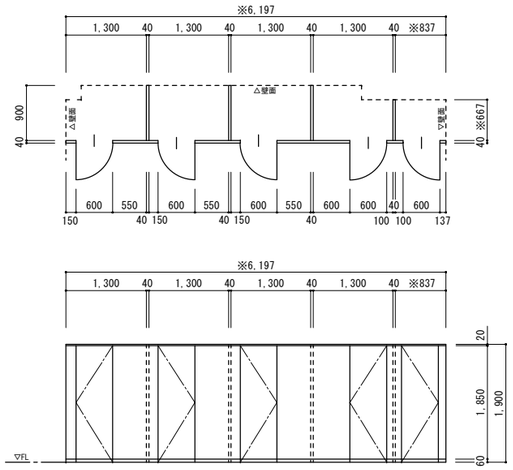
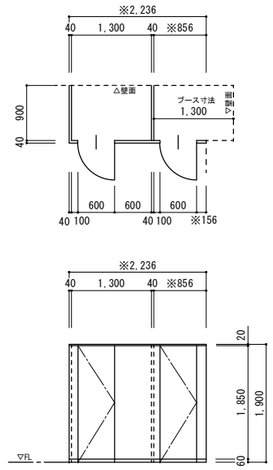
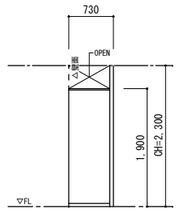
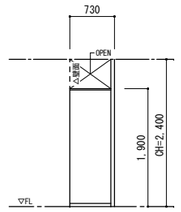


脱 衣 室

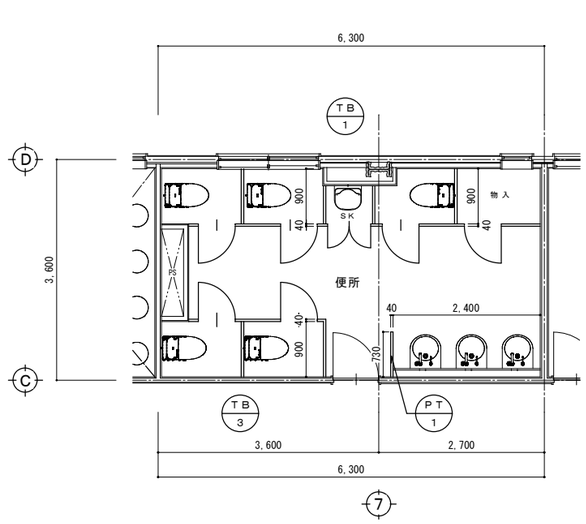
脱 衣 室

符号・名称・数量	既存ＷＷ－１撤去　引違い戸（戸のみ）　１台	既存ＷＷ－１撤去　引違い戸（枠共）　１台	既存ＰＷ－１撤去　樹脂内窓　４台
室　名	教場	教場	教場
姿　図			
材種・仕上	ポリ合板フラッシュt=36	ポリ合板フラッシュt=36	樹脂製・カラー
ガラス	F4	F4	F3
金　物	引手 樹脂製戸車、アルミガラリ	引手 樹脂製戸車、アルミガラリ	クレセント、付属品一式
備　考			

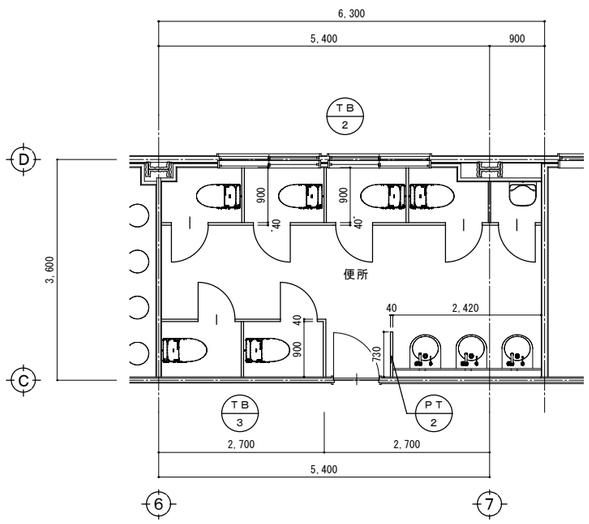
特記			設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	図面番号
	・		・　・				図面名称	【改修】建具表、建具配置図１	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	A ― 14
	・								
	・								
	・								

符号・名称・数量	ＴＢ－１　１か所	ＴＢ－２　１か所	ＴＢ－３　２か所	ＰＴ－１　１か所	ＰＴ－２　１か所
室　名	１階便所	２階便所	１・２階便所	１階便所	２階便所
姿　図	※印寸法：現場合わせ 	※印寸法：現場合わせ 	※印寸法：現場合わせ 		
材種・仕上	両面メラミン化粧合板フラッシュ（芯材ペーパーコア）t=40	同　左	同　左	両面メラミン化粧合板フラッシュ（芯材ペーパーコア）t=40	
ガラス	－	－	－	－	
金　物	標準金物一式、表示付スライドロック錠、戸当たり、丁番、SUS巾木、アルミ笠木	同　左	同　左	標準金物一式、SUS巾木、アルミ笠木、アルミ支柱	
備　考	参考メーカー・品番：小松ウォール工業　TB-GPR同等品	参考メーカー・品番：小松ウォール工業　TB-GPR同等品	参考メーカー・品番：小松ウォール工業　TB-GPR同等品	参考メーカー・品番：小松ウォール工業　TB-GPR同等品	

建具配置図



１階便所

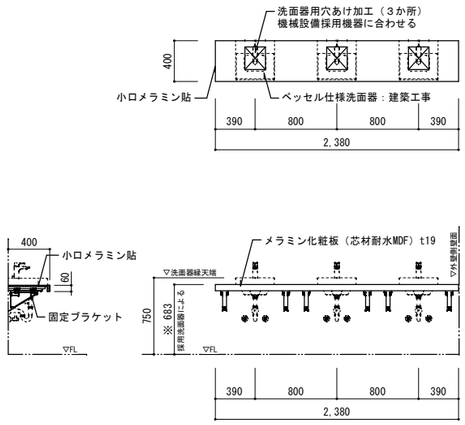


２階便所

建具配置図　S=1/50

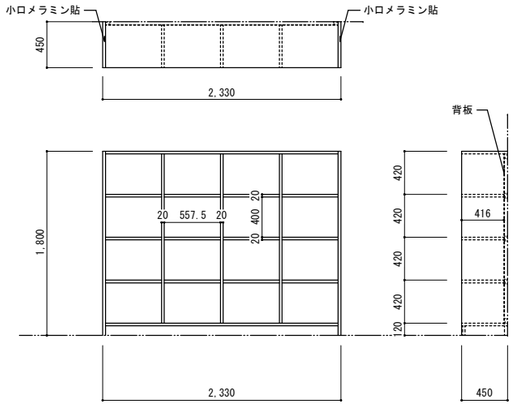
特記		設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
	・	・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ― 15
	・						
	・					図面名称　【改修】建具表、建具配置図２	縮尺　A1：1/50　A3：1/100
	・						

Ｋ－１　洗面カウンター　１台



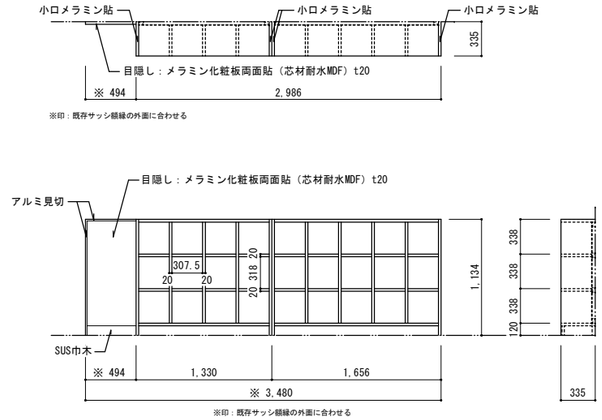
カウンター材　参考メーカー・型番：アイカ工業　ポストフォームカウンターウィルテクト KSAtype同等品
固定ブラケット　参考メーカー・型番：アイカ工業　KH-341BA2 x3セット

Ｋ－２　脱衣棚　(16人分)　１台



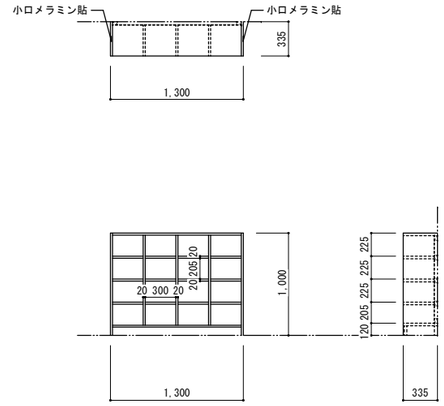
●家具仕様
本体：両面メラミンパーティクルボードt=20
木口：シート貼
背板：ポリ化粧合板t=2.5
巾木：ランバー+ポリ化粧合板同色貼

Ｋ－３　洗面器置棚　(27人分)　１台



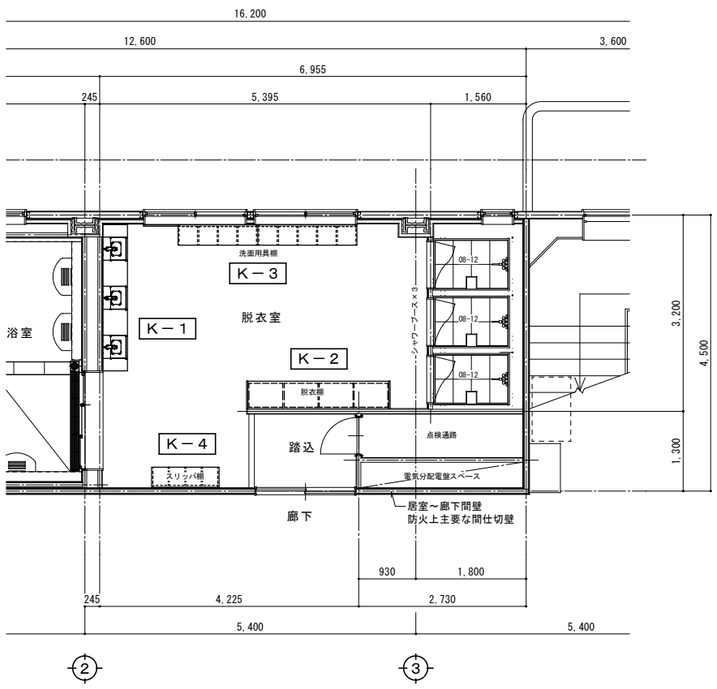
●家具仕様
本体：両面メラミンパーティクルボードt=20
木口：シート貼
背板：ポリ化粧合板t=2.5
巾木：ランバー+ポリ化粧合板同色貼

Ｋ－４　スリッパ棚　(16人分)　１台



●家具仕様
本体：両面メラミンパーティクルボードt=20
木口：シート貼
背板：ポリ化粧合板t=2.5
巾木：ランバー+ポリ化粧合板同色貼

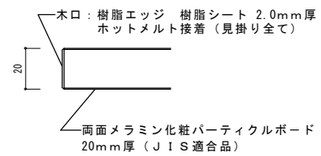
家具配置図



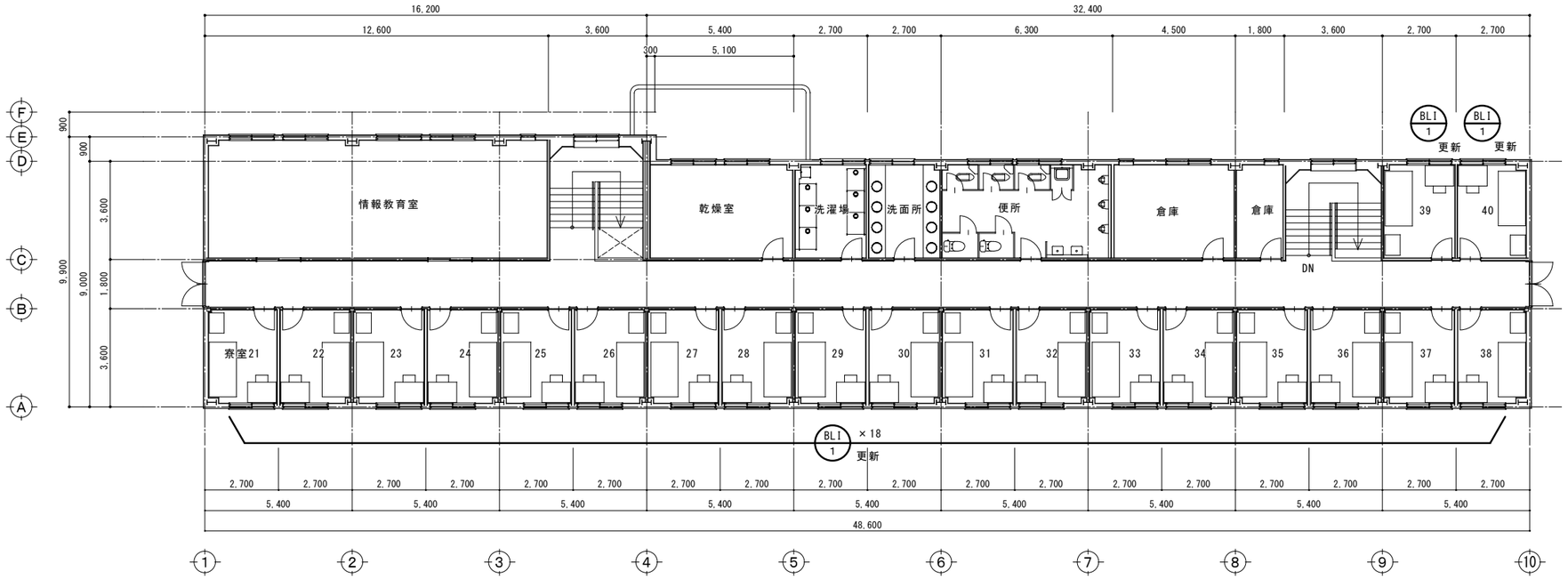
家具配置図　S=1/50

K-5・6・11共通仕様　（特記なき限り下記による）

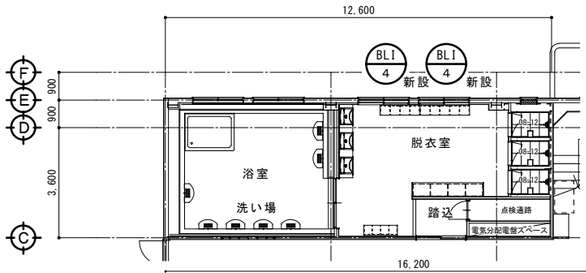
本　体	：両面メラミン化粧パーティクルボード　20mm厚（ＪＩＳ適合品） （低ホルマリン（F☆☆☆☆）/　抗菌仕様）
木　口	：樹脂エッジ　樹脂シート 2.0mm厚　ホットメルト接着（見掛り全て）
扉	：両面メラミン化粧パーティクルボード　20mm厚
棚　板	：両面メラミン化粧パーティクルボード　20mm厚
巾　木・台　輪	：樹脂化粧合板　20mm厚
引　手・把　手	：ステンレス（埋込タイプ）
蝶　番	：スライド蝶番　１１５°
棚受け	：ステンレス製　φ8
引き戸下レール	：アルミ製　波形レール
背板	：ポリ化粧合板tmm厚



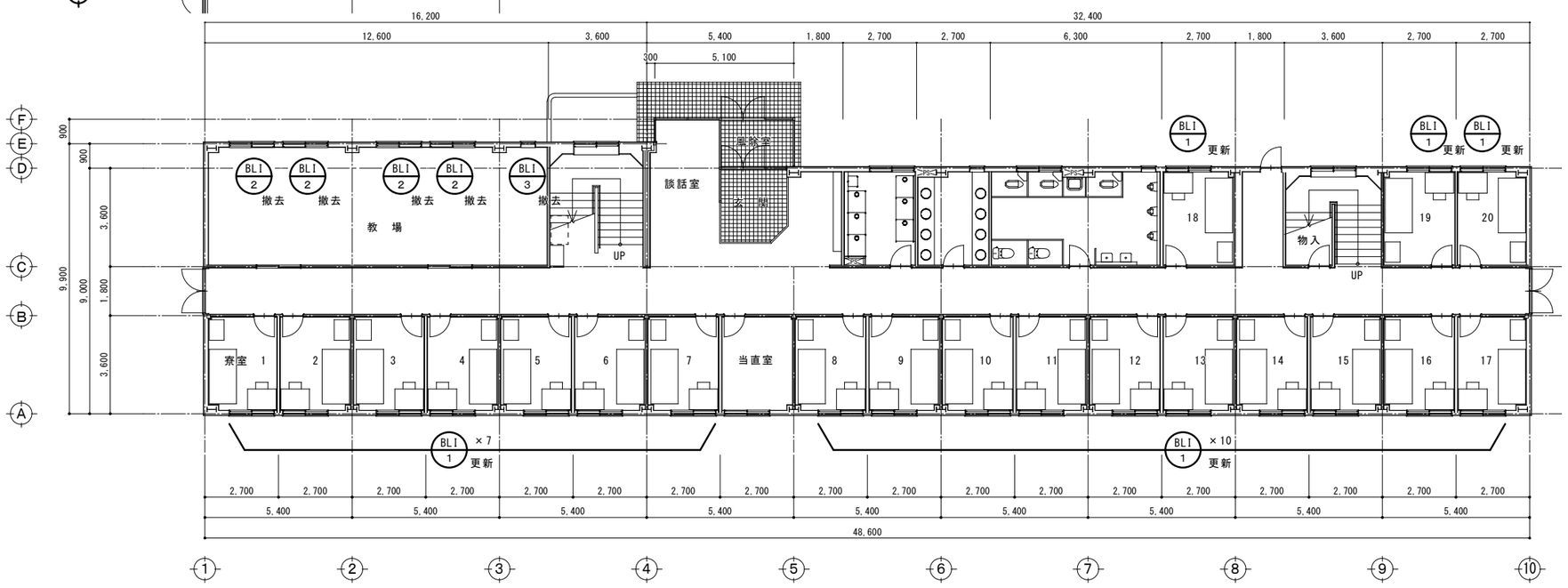
特記			設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事		図面番号
	・		・　・							
	・						図面名称	【改修】家具詳細図、家具配置図	縮尺 A1：1/30、1/50 A3：1/60、1/100	A ― 16
	・									
	・									



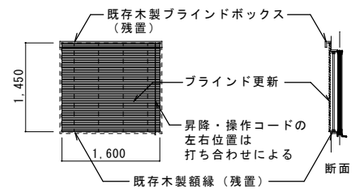
2階平面図　S=1/100

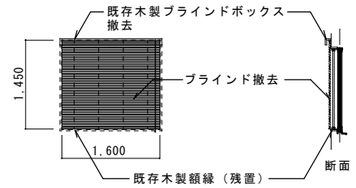


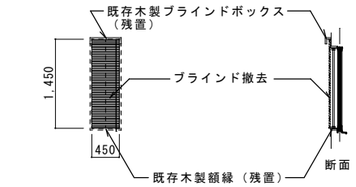
1階教場改修平面図　S=1/100

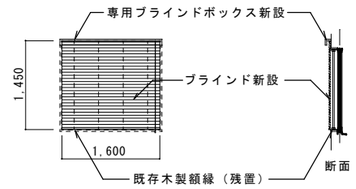


1階平面図　S=1/100

符号・数量	BLI 1 更新　既存撤去　計４０か所 更新　計４０か所　S=1/50
姿　図	
仕　様	手動式
材　質	アルミスラット　幅25mm、明色
金物類	昇降コード、操作コード等　付属品一式、下部振止め取付

符号・数量	BLI 2 撤去　既存撤去　計４か所　S=1/50
姿　図	
仕　様	手動式
材　質	アルミスラット　幅25mm
金物類	昇降コード、操作コード共

符号・数量	BLI 3 撤去　既存撤去　計１か所　S=1/50
姿　図	
仕　様	手動式
材　質	アルミスラット　幅25mm
金物類	昇降コード、操作コード共

符号・数量	BLI 4 新設　新設　計２か所　S=1/50
姿　図	
仕　様	手動式　遮光タイプ
材　質	樹脂製等（防炎・耐水）スラット　幅50mm、木目模様
金物類	昇降コード、操作コード等　付属品一式、下部振止め取付

特記		設計年月日	担当	検図	照査	工事名称	図面番号
	・	・　・				岩手県警察学校早池峰寮改修（建築）工事	A ― 17
	・					図面名称：１階・２階ブラインド改修図	縮尺 A1：1/50、1/100 A3：1/100、1/200
	・						
	・						